

一、参照

在對之武漢政府一月十四日

別之文句之要之我方之對之在二項即

(一)日本政府之平和之解決方法之

事件之解決也之

事件之急速且良好之解決一為大外交上之

日本總通牒之

之各要之因日本之自國一之

之關係一為地之此際國民之權力

政府之下之款之在文之急速統一

之如之持之加權之

旨ヲ加ヘテ回答ヲ下シ来リ
（新地甲号武漢政府

各回別回答文比較表
（高陳案係八回因側二何等協
議五下古四月十号本件各

因宛回答文ヲ國民黨
機關紙ニ公表セリ
然レハ今武漢政府一各團

回答ヲ通觀スルニ正義上列因側可ニ要求條

件（一）賠償額（二）賠償因保障ノ承認ヲ

受クニ拒ハルニテ又ト難シ處罰及謝罪

ニ付テハ南京事件ノ責任ヲ以テ北軍並ニ其ノ

一味ノ責任ヲセリト云ハルコト以テ今且調査ノ條件

トシ（四）賠償ノ付テハ實案ヲ確證スルノ北軍一所

有ニ基テ場合ヲ除外スルヲカ如キ條件ヲ備

意卜實力之新政府實現之修訂平權大平
及入平問題之提起之責任之他據此以下
中如平問題者十之五

二、新國例第二回通牒並聲明案之附屬之五國

今後共同計劃

修訂四月十五、五國今後在武漢政府之回答
二、新中樞重組計劃一、結果共同之計劃之共同計劃
二、共同之通牒並聲明案之責任之他據此以下
三、共同之通牒並聲明案之責任之他據此以下
四、共同之通牒並聲明案之責任之他據此以下
五、共同之通牒並聲明案之責任之他據此以下

(1) 五國公使何人武漢路的一回答力有然不滿足
之今日且答之難才又一才下確信之否也

ん
ず

(2) 同回答ハ素々初國側一要求之添ハ答ハ之ナラズ

初國間ノ離間之其一要求ヲ慰弄セリト見

事件ト無關係ト事ハ才下ナ高事

仲解決之際各明白ト争點ヲ云々暗昧ナ

ニナリト試ミ見ルナ

以國政府當局ヲ強ク引引倒ノ要求ヲ強シ

ナト稱ス惟ハ一點即チ外人一也所為利

臺灣省、係屬一併、從前國民政府既已
 所納之政策、在予予、明人、既已、同政府、同予
 既、賴、互予、大、是、際、予、ハ、從、業、一、經、既、之、繼、之
 明、予、之、予、同、者、內、予、未、配、已、既、之、其、意、在、其、若、人
 則、因、予、意、而、自、之、結、核、一、難、件、一、解、決、予、求、之
 之、之、對、予、予、予、選、選、之、以、列、國、ト、其、部、ト
 一、有、好、關係、一、繼、續、予、不、可、能、予、之、之、予、之
 ト、始、予、予、予、予、予、
 (2) 美、本、南、政府、之、國民、政府、領、事、內、之、新、予、其、力
 予、以、予、因、民、之、係、難、之、意、以、難、選、也、之、大、係

八、本局所引揚子江一帶之
 日佛伊新政府之執照，乃因少數之
 政府，有鄰日之漢口，及若干外國人，總
 及事業，人事與上全部關係，且海軍
 一、保衛之，危險之狀態，及若干被
 二、少人數，除外國人全部之漢口，及
 三、者，一、保衛之，及若干被
 四、出，今同一回答中，若干外國人保衛之，對
 五、保障之，國民政府，不平等條約之，及
 六、已同條約，及若干被，及若干被

財産の對する危險の醸成を防止するに
努力を怠るべし

(1) 五國外交代表者に同一門答の基礎とす

議或は編纂の試みは必ずしも不満足

に強辯者、街中の隔ちを以て國人に自

實の交渉の行、極限を以て維持する

漢口の支配を以て、イギリスの勢力に

なる為め、事件の擴大を防止するに

努力を怠るべし、五國外交代表者

の排外宣傳の手段を以て、五國外交

十ニ下

(山) 仍于五国公使ハ蒙ル如自国政府ニ對シ各自国

領事ヲシテ陳示仁ニ對シ如平同文通牒

ヲ提出セシメハ中權限ヲ附与セシメテ並本

通牒提出ト同時ニ各國政府力上速速左記

趣旨ニ依リ聲明書ヲ作成シ而シテ各公使

宛テ共同シテ五都ニ於テ右聲明書ヲ發表ス

ルニ權限ヲ与ヘシメトテ稟申ス下

左記

四月十一日米、英、佛、伊、日、本政府代表

ハ同文通牒ヲ以テ五月二十四日南京ニ於テ

國民軍之前途各國國民之加力之果益何
有之故乎此已日之事態一迅速解決之期也
而為新條件之提出也右國文通牒之數已
國民政府之有人國文一回答之十下之可
此表者之對之訓誨之果之日之文之可
乙見之有人之新事時之故也之可
要之全信一信之一為之可之可
要求中一卜乙之國民政府之可之可
總之之見之可之可一要求一之新之
之保之之可之可

自白連
延吉
陳述
卷二
北平
關係國
政府八

共國已予同意，如要（中）年，
總之，請於一止。

4
9
10
11
12
13
14
15

熱心本誌請刊
一、介紹
(1) 如
列國
共同
聲

明
1
甘
2
3
卜
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839

新報，
如，
幾，
不滿意，
不都合，
點，
拍，
以，
之。

客一
點
十令
指
精
多
軟
心
都
子
無
用
之
潔
越
好

同
3. 使用已交郵側、逆空、
酒、
利、
用、
古、
一、
書、

2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

三、今後、多額の関税を削減し、新

令に則て、税を武漢政府に對し、平等に

課税し、市場を武漢政府に有利に轉換する

2、税関、税關側と、輸入税、同政府に、交渉し、打切

り、(1) 税關側、税關の、税關、及び、(2) 國民軍總司令部

對側、(1) 税關、解決、新、(2) 税關、(3) 税關、(4) 税關、

3、税關、(1) 税關、(2) 税關、(3) 税關、(4) 税關、

税關、(1) 税關、(2) 税關、(3) 税關、(4) 税關、

税關、(1) 税關、(2) 税關、(3) 税關、(4) 税關、

1、税關、(1) 税關、(2) 税關、(3) 税關、(4) 税關、

此項果到否？已矣。今後一多請一和年之業務
能至國府會議之條。如之同通條。並請開
案。對之同訓。之付。豫案。若應。之要。互。結。期
之。連。中。

此。之。今。中。國民。政府。內部。之。新。之。總。司。府。部。派。下。武
漢。派。下。一。令。製。款。署。下。之。前。若。之。新。年。之。新。而。下
也。武。漢。政府。府。下。之。左。海。不。其。翻。下。之。場。合。之。八。月
之。其。一。總。府。之。宣。明。之。款。此。之。以。下。本。件。之。解。決。之
看。中。之。之。一。意。智。之。有。否。否。通。之。府。之。一。之。中。之。新。而
月。十。日。若。若。部。一。在。上。海。之。大。同。總。辦。事。之。業。務。之。內

國、武漢政府、對、通牒、之、答、復、同、政、府、

一、總、理、之、見、解、上、述、三、切、題、之、南、京、政、府、

對、上、述、三、切、題、之、答、復、中、下、

(二) 通、牒、立、直、之、一、南、方、一、以、為、重、大、之、此、一、際、

東、端、之、限、之、所、以、一、通、牒、之、條、款、之、下、支、部、一、張、陳、

之、之、之、所、以、之、之、通、國、共、通、一、利、益、之、之、之、東、

國、政府、之、經、理、之、之、通、牒、之、條、款、之、之、之、五、國、

通、牒、一、上、通、牒、之、條、款、之、之、之、之、之、之、

(一) 通、牒、之、條、款、一、修、正、一、修、正、之、條、款、一、修、正、之、條、款、

通、牒、之、條、款、一、修、正、之、條、款、一、修、正、之、條、款、一、修、正、之、條、款、

可成立之模範形式之修正之無用之因政府
 1 神燈之刺激力如中文字之使用及之避之
 漢政府之惡劣例用中文字之防人之苦
 在漢之粗中文字之入中南京政府一派之
 國體之要求之和平及國中狀態之異常且
 米國之和平利國之和平之和平之和平
 2 決定之日月之和平之和平之和平之和平
 平大德之和平之和平之和平之和平之和平
 利國之和平之和平之和平之和平之和平之和平

方、意向、付来、因政府、於今、始、見、成、之、在、其、同、國、所、
 就、必、要、之、訓、令、ヲ、發、ス、標、同、政府、者、百、親、別、信、者、
 之、第、一、之、ト、若、考、評、所、使、之、之、王、國、所、使、在、鐵、之、
 於、今、大、要、左、記、ノ、如、中、通、標、無、聲、明、書、修、正、ヲ、
 鐵、之、列、小、協、調、ノ、基、礎、在、直、ニ、付、丹、力、出、之、
 ト、ト、シ、カ、リ

○通標案之對正

(1) 通標案之項、右ノ敘、事件、ノ、各、代、表、者、

之、對、列、國、之、案、ノ、見、之、其、ノ、以、年、同、答、ノ、日、
 右、ノ、敘、事、件、ノ、修、正、之、之、為、之、之、等、上、之、

備一目的、為之知、乃、組、之、代表
若、對、之、到、之、同、答、之、日、中、右、ハ、該、事、件、之、迅、速、
之、解、決、ヲ、確、定、ス、ル、ニ、向、テ、認、定、ス、ル、以、上、
修、正、ス、ル、ヲ

修、正、ス、ル、ヲ、國、民、黨、官、憲、之、於、迅、速、且、完
全、之、答、該、條、件、之、同、意、ヲ、用、意、見、下、
明、白、且、無、條、件、之、表、示、之、後、初、メ、十、日、月、之
間、ス、ル、對、議、ヲ、行、ハ、ス、ル、ヲ、ト、ス

2、通、牒、東、東、理、之、故、之、國、民、黨、官、憲、之、於、迅、速、
提、出、條、件、ヲ、全、部、一、休、ト、シ、テ、應、行、ス、ル、ハ、意、

RECEIVED

1967

P.V.M.

27

476

向來未予明白且遲延
陳述之非也

關於國防之共同同意
如要者

中韓之共同同意
如要者

關於國防之共同同意
如要者

關於國防之共同同意
如要者

關於國防之共同同意
如要者

關於國防之共同同意
如要者

○關於國防之共同同意

關於國防之共同同意
如要者

關於國防之共同同意
如要者

了說已於今昔一之之之挑發君下強迫之類之
語句了有已於今前起物方方針卜左故之之
同解的者之說下左記一語點了町等之統
述之在都國民一般之新之且排外思想之
性之使喚煽動之共產派並武漢政府之抑之
之目的之派之之之要了
以責此有無一問題之何之之事件為以通難者
一經之實一保何之之經權之並南軍新
部一辦明答之微之方以一事件中南軍正統之
並其一一味一所有之其之之之之極上之明

國
債
公
報

19

19

19

19

19

19

19

19

19

(4) 右賠償處罰謝罪一範圍程度即4列國側面

求條件一細目之五よりハ武漢政府人並張

を力如く列國側トナ邦側ト一共同綱要等

ヲ修平之ヲ協定否ト此一總事件解決に關ス

ル並通一經取リテ下

(5) 右南京事件一解決ト何等關係有キ事事件ニ

問題ハ此一際新議スル中限ニテ下スル如キ

ハ人ヲシテ國民政府當局一請意ヲ疑ハシ

クニシテト新中政府修約一方針ニありテ

新側トシテハ既ニ數年以來要國面ニ對

手ノ来レハ所ナキ五五邦内部ノ政情ハ強ク不安
定ノ期ナリ從テ邦内トシテハ實ニ熱誠ニ拘ルモノ
改訂ノ事業ヲ遂行セシムル事地位ニ在リ而
シテ此ノ情勢ノ廣東軍北伐兵師以東進シ
甚クシテ最近ニ至リテハ國民政府ノ勢力範圍
内ヲ強クハ外國人ノ生命財產ハ甚ク之ヲ
保障シ得ルモノナレバ以テ之ヲ却テ不承認
條約ノ成立ヲ必要ナラシムル理由ヲ輕視ス
歸着スルナリ今日本無難例ニ類シテ下

四、

前記共同精刻ニ對シテ實ニ佛國若本國政府

1 同新

(1) 美國

四月十九日 國際國府會議 際在東京國府使

事 際對陳在仁 乃新國使 乃同通牒 乃承認

也 乃聯合 乃制裁 乃際 乃他 乃際 乃國 乃何 乃之 乃同

意 乃中 乃ト 乃條件 トシテ 本件 乃同 乃制 乃承認 乃

乃 本國 乃政府 乃制 乃之 乃據 乃之 乃趣 乃述 乃入 乃力

實 乃依 乃乃 乃日 乃際 乃係 乃國 乃乃 乃使 乃合 乃議 乃際 乃英 乃國 乃乃 乃使

乃 本國 乃政府 乃乃 乃列 乃國 乃際 乃乃 乃制 乃乃 乃條 乃約 乃乃 乃條 乃乃 乃約 乃乃 乃制

裁 乃問 乃題 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 ト 乃通 乃條 乃案 乃文 乃中 乃乃 乃乃 乃乃 乃制

(12) 朱国

村
八

(一) 五國今後建議之條約之同通牒案未經大
 利裁之問各條項之包含之否
 條之參加之程度

(2) 各國一通條、各別之條、及中元一二、已於各國
交通、事項、之、及、同、文、卜、其、

天
十
三

（三）末國政府は陳安仁ト此上交渉ヲ為ス必要ナ

リヤ否ヤ否必要ナル場合ニ於テ通牒ノ形式

ニ依テ最中古昌親友ニ接シタリト述入リ

（一）佛國

四月二十四日在本邦佛國大使出滿以迄ノ末迄

佛國政府ハ本件通牒並無解明ノ意ヲ示親クモ

外交同盟關係ニ割合シテ述入見カ付テ又

今後別國側ニ於テ制裁手段ハ如何ナル場合

ニ關シ嚴重ナル關係アリシニハ越テ詳細

後經第二參照

(二) 學

四月十九日 關係國今後會議一際伊國今
使日本政府訂可中件其同請訓之同意

一 旨同訓之接セリト述ハタリ

五、初國協訓七通方之陳名於未初年大德一搭置

(A) 四月二十四日國務省會人、合議

四月二十四日在米初年大德、米國、以務省官

、修訪之新紀物方訓、合議、旨、寫、卜、中、

此、際、初、國、協、訓、肝、要、古、旨、述、ハ、タ、リ、

味之既已居之於外六形之又貫一態貌一留保

即此中之一已居之於外六形之又貫一態貌一留保

要求中一已居之於外六形之又貫一態貌一留保

如又身三週之於外六形之又貫一態貌一留保

1目的之已居之於外六形之又貫一態貌一留保

則居之於外六形之又貫一態貌一留保

確的要求了1目的之已居之於外六形之又貫一態貌一留保

難同古

3. 目下1南方派1內新之了既之漢之既府

3 既之陳1他修動操之既之申報之

2 付寄款目 形勢推移 3 見極 4 2 2 晚

3 2 2 2

(四) 四月廿七日國務院令 1 戶部

四月廿七日 秘書長 1 戶部 國務院令 1 戶部

2 政府 1 訓令 1 其年

Q11. 1 戶部通牒案 3 對 1 前部 國務院令 1 戶部

摘要 2 1 戶部 2 對 1 戶部 1 戶部

閣下 1 戶部 1 戶部 1 戶部 1 戶部 1 戶部

1 戶部 1 戶部 1 戶部 1 戶部 1 戶部

秘書長

2. 列國側トシテハ既ニ武漢政府ヲ主トシ南京派

ヲ扶ヒシ多シニ日ノ關係上武漢側トシテ

海ヲ打叩キ南京政府ニ移スルハ今一應武漢

政府ニ對シ通牒ヲ發シ應答ヲ求メテ下ル必要

ナリ南京政府ハ既ニ來者拒ミ且武漢政府ハ既

ニ鄭重ニシテ今且打叩キ一應海ヲ經ル

一橋合カス

ヲ述ベ南京政府ヲ在列國間ハ既ニ能達カニ

示スル合議ノ議經リ武漢政府ニ對シテ亦

通牒發送ノ運ニ至ル様訓令ヲ下ル處ニ至

入レ日此力右ニ對シ國務院官ハ後述四月二十日

平太白公使會議ニ根據ニ付於此兩國片修訂

電報ニ據アリトテ制裁問題ニ關シ必要ニ據

限リ早ヘテ應ハ日英佛伊公使ハ日本側修正同文

通牒ヲ發達シテ之ニ對シ同意不滿意ニ一俟

蔣介石トテ多謝及漢口ニ對シ制裁問題ヲ要

義アリトテ決議アリトテ極力ヲ修訂スル

後米國側ハ今日迄穩健且首尾一貫ナリ

本外對英政策ハ終然一致見テ修訂ニ制裁

ヲ日本ト協同シ修訂ニ日本續ク之ニ制裁

急う難ふ所ハ四月二十日五時一五國合
議會議一機標之閣五前親存在同國合使一報
告之貴中堀銅之修持之是之新裁問題引起
之ハ限上之存下明トナシ
初下政府ハ末國之難シサト云日本ハ閣之阻
制裁問題ハ考慮力加申意向ナシ飽之迄在
外交中解之存ノ事件ノ解決ヲ却却之存下
ハ明白ニ子再懸堀銅方ヲ通達意存一
要之親方一月松平大使宛同大使
ヲ國務長官ニ對シ制裁問題ハ閣五希

國政府、態度、如何、再、應、列、國、調、
 院、五、米、國、者、局、一、新、意、三、保、二、平、下、並、持、
 上、二、平、利、國、調、調、二、會、中、少、選、り、五、一、古、り、以、今、米、國、
 一、總、席、如、如、何、二、條、り、其、牙、二、次、選、際、一、時、機、り、暫、
 り、延、期、五、下、ト、十、二、五、取、方、本、儀、ト、忠、考、り、際、ハ、
 各、り、電、報、り、り、

(二) 丑月三日國務長官ト、居、談、丑月三日、杉、米、和、平、
 大、使、ハ、國、務、長、官、り、修、新、り、右、政、府、制、度、一、次、和、
 了、中、ハ、見、處、同、長、官、ハ、制、裁、ハ、際、各、日、本、政、府、
 一、總、席、ハ、充、分、了、解、シ、見、此、際、米、國、政、府、ハ、意、見、

3 明 確 申 述 7 8 1 7

11 未 國 之 利 國 協 鋼 1 必 要 3 全 7 同 意 了

(2) 然 今 未 國 1 列 國 3 知 之 按 中 軍 統 2 蔣 介 石

張 伯 豪 其 他 友 邦 1 如 何 古 政 務 若 卜 多

海 右 1 意 獨 步 子 悉 之 贈 未 未 國 2 於 行

友 海 3 關 於 此 之 各 場 合 2 1 據 大 所 亦 2 甲

出 久 乙

3 然 之 長 方 日 有 之 亦 云 次 通 勝 3 勢 久 乙 7 卜 2 1 依

物 同 意 乙 難 乙 意 乙 此 1 際 蔣 介 石 相 等 乙 通

標 3 勢 乙 乙 之 壓 迫 3 加 乙 乙 乃 穩 和 乙 蔣 一 派

3 過激化 ^上 又武漢政府

3 廣各場各縣通敵 ^上 又武漢政府

軟弱 ^上 又武漢政府

ハ ^上 又武漢政府

ハ ^上 又武漢政府

危懼 ^上 又武漢政府

要求 ^上 又武漢政府

時期 ^上 又武漢政府

者 ^上 又武漢政府

ト ^上 又武漢政府

[illegible]

方針、
迎撃、
條修
正案及
声明書
修正
の順

親
明
己
身
上
朱
國
政
府
親
摺
今
在
親
明
己
身

如何修心

(一) 東京政府より帝國政府に就いて應る事

有る

(二) 東京政府より就いて應る事

有る事と通牒を發送する事

因に因に、漢江政府に我修正通し、回答する

事、付て同政府に猶且誠意を示す事、在る

又、因に、如何なる態度を示す事

等、諸點に關し、概々論議する事、在る

又、東京政府より、東京政府より、東京政府より、陳る

事、對する通牒、書振如何、是より、新裁

修中ヨリシニ對シテ芳澤ハ使ヲ南京政府ト交
 涉シ院始メシト一我々方針ヲ親明ニ結
 局シ、英佛、伊、回國ハ使ハ漢江政府ニ同文
 通牒通シ且衆議ニ召後同政府司不滿意ナ
 ン回答ヲ據シ且場合(1) 薩今石ト多涉ヲ院第
 石中四組裁ヲ用フ節存中、二問題ハ直ニ場
 議左右ニ打命セヨ
 尙前記聲明書一問題ニ関シテハ聖ニテ各
 事ハ五ノ八ノ使一在、今ノ院ハ先ハ英、回國ハ使
 我々、修正程議一趣、今ノ其趣トシテ、内閣

(四) 政府 / 同新

同新黨之一項 / 本項 / 他 / 因 / 使 / 新 / 除 / 之 / 意
政府 / 亦 / 要求 / 條件 / 原則 / 的 / 承認 / 一項 / 之 / 意
且 / 為 / 少 / 因 / 統 / 之 / 加 / 之 / 聲 / 明 / 書 / 案 / 之 / 提 / 出 / 之 / 意
新 / 黨 / 對 / 議 / 結果 / 之 / 三 / 字 / 句 / 修正 / 上 / 之 / 意
決 / 已 / 希 / 同 / 政府 / 之 / 決 / 于 / 能 / 迄 / 事 / 以 / 書 / 報 / 表 / 之 / 意
之 / 新 / 黨 / 各 / 同 / 使 / 共 / 同 / 對 / 議 / 于 / 年 / 下 / 十 / 月 / 日

右 / 五 / 國 / 同 / 使 / 會議 / 決定 / 關於 / 希 / 和 / 政府 / 之 / 四 / 月
二十 / 日 / 於 / 此 / 使 / 能 / 大 / 要
一 / 新 / 黨 / 於 / 此 / 際 / 希 / 來 / 報 / 之 / 意 / 希 / 國 / 協

49
MAR 20 1911

P. V. M. 87

501

詞一上通牒，發之於中，所存之米，因之降
 之他，因國限，二通牒，發之於中，如年，以事
 2 懷，金，於，意，要，上，思，於，已，限，下，至，武
 漢，政府，卜，交，路，打，却，後，南，京，政府，卜，交
 路，3 關，於，之，信，元，其，因，暢，通，之，必，要，之
 一，意，向，之，卜

2. 聲明書，入，表，一，件，八，五，米，揚，子，一，表，揚，子，非
 乃，四月，十五，日，其，因，所，使，其，因，電，票，一，市，的
 案，之，對，之，修，正，一，報，告，多，提，議，已，見，之，上
 平，者，明，一，必，要，之，因，執，行，一，意，向，之，非，也

己、
長安寺

4.

五 五

(一) 四月二十九日 奉 皇 后 儀

四月二十九日 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀 奉 皇 后 儀

2 尖銳一以向之滑之在三角分像一陽之
 象執之入中方針之象家之遠之入下之村在也
 以之付方得分像入我之總意以新年大使用
 務片為第二回看見一結果一低之確在之車元
 1 古卜者之數看也
 然以之在陽看後問之古前初四月二十四日
 大使用務片看屋額一結果一陽之電報務到之
 以之以年芳深后像之受佛用之國后像之對
 全的態度之表明也之必要之親十有之象
 2 付豫之請訓之陽之也

攝國子

p

(2) 政
村，
回
制

右對政府之五月二日
芳澤 公使 家大要

人
田
國
限
有
限
公
司
香
港
考
覈
部

機
2
非
必
此
際
因
此
1
之
2
子
物
米
因
3
際
外
已

牙
進
力
如
中
楷
異
絕
筆
跡

今
年
中
心
付
帶
圖

政府ト
ハ
其
米
國
ノ
態
度
ヲ
見
極
メ
爲
メ
方
報
シ

同國
限
通
廣
英
通
2
陽
名
新
行
公
司

星野 正一

2、
万来米因力尔
可以通
候之
同意
了
熟
否
所

以人御國
以能治之
以法裁之
以道引之

[illegible]

4

漢文電報

吳佛伊之圖
今係勿
其之
通
標
美
送
之
業
久

王國一 梁度華 朱一五 國瑞 鄒維 維特 方

針
對
不
滿
一
定
的
半
以
已
及
一
如
其
所

朝内
二十九年
五月
同德会
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

三子愛新之德也

今後ハ我々協議員共々
本國政府ニ對シ

国文電報（英文佛文）の今大要全記

1 趣旨一報 答ふ所は

1 國語科の南系漢文の政府の地位利便

否の否迄陳在知一語 勝の對の否の四通

勝の第一 幾迄の極 勝の否の必要の國語

2 下の同様の右 勝の文の新規古修正の極

勝の日本政府の申知の極 否の修正の極

2 日本政府の米國政府の意見の其端の極

否の第一 如く如く米國の除外の因の極

否の行動の極 否の因の極 否の極

3、以上这组7组之6号之英佛伊五图1代表

實現之日其同動此一條件也
ト也其ノ増下之同増五代表者等ノ一本

國政府對之各級思想及破壞分子ノ計畫ヲ

所割也其ノ為今後支那ニ於テ外國人ノ生活財

產ノ爲限ニ限リシカニ中軟弱政策ノ不可

ト下ノ算中五ノ義務アリト思考ス

(八) 右ノ對立英國政府ノ同割(陳友何龍牙ノ同通

勝發運見合ヲ訓令)五月四日英國今條ノ續

求ニ依リ五國今條合議關係無英國今條ハ本

國政府アリ左ノ報告ノ訓令據ヒ日ニ依リ松

67

1550

「美國政府は貴電に對して等々考慮し且豫漢支
工廠の靜止に漢口を以て爲日と爲山等事の
確立を爲し右兩省の措置に便するに備ふ不利
を多し遂に大々しく從平現下ノ事情に願
右兩省何レの措置に出る事に於ては之を以て美國
政府に右ノ決定を爲すト其ハ各國係國ハ主義上糾
裁問題に同意也其ノ事ヲ承知也」カ故或は
宜ノ糾裁ヲ加フハ問題ハ無期限に延期ス
ルヲ然ルヘント思ふ者ヲ多ク陳友仁ノ對ニ此上

何者通勝之義之實際上一目的之副八廿二
 恐喝の通勝力に断然に要求し提出するに拒
 絶せしむる場合之に貫徹し確信力が為す
 同一具體の具効力に措置し執心し決心し決
 心以上則ち一極端に低下するに終るに
 右英國政府意見の第一は通勝の義に五
 國中一國の署名に於ては通勝の義に
 場合に則ち一極端に決する事は不可なり
 之を一事として一層華國の如くは之を
 不執心し貫徹し之を四國に傳へ右英國政府

MAKIZEN

1 決定するものと同様、將來の對しては、美

國、一國強國、其財產の對しては、暴行の被

るに際しては、其の行動、完全自由の行動

及び各附會、也るに、

此等諸國、其の日本政府の目下、尚引續き、米

國政府、一應、其の權力、其の中央政府、其の

2 乙等、其の決断、其の參加、其の一應、其の表、其の

其の決断、其の中央政府、其の決定、其の決断、其の

3 其の決断、其の決定、其の決定、其の決定、其の決定、其の

4 其の決定、其の決定、其の決定、其の決定、其の決定、其の

問題に提起するに述べた如く、公使は自今
 何答を明かにせざるに依りて、首肯の
 意を辨し
 第二、新裁句題
 國民政府當局の側、要求するに當り、
 實力を以て之を強要するに依り、東亞國側
 に強き機會を與へ、主張の果しを以て之を
 國民政府當局の側、要求するに當り、東亞國側
 際、既して通牒を要求せられたるに依り、
 一、最も最後通牒の形式に於て、之を以て

期限より短くするに
よるものがある、
そのうち、
（一）右第一回臨時
裁問答の問答、
要するに、

一、英國側、
五甲出

（二）我方、
五甲出

四月十一日、
日本郵政大臣、

新に、
英國政府、

際、
急務、

乙子性本件制裁之関に有教令手続を要見し得
 又ト云フニ此等ノ事ト了解シ居ルノ果ニ于然ラハ其
 国政府トシテ右有教令手続中リヤ否ヤヲ察
 見セリカガ為ル上海國際海軍司令部ニ于テ審
 議セシメテト政府意見得テト述ヘタル事
 實ニ
 常務委員ハ右部ニ於ケル日本一會場ヲ永遠ニ不利
 無限ニトテ有教令切テ制裁ヲ加フニ一途ナ
 リ云フ所然ルニ若クハ古キ方素制裁ハ懲罰
 1. 意味ヲ知ラズシテ要求環境能ク目的ヲ知ルニ

MARUZEN

1. 古來制敵問題之隱憂新國亦軍司令部官達
 鑄金封鎖船舶各種砲臺砲擊塔台何也
 形不便卜之乎如之乎其子彈壓各一
 目的之道也穿以形不便友人及下子裝填
 之陷之利國制敵身之正害也云云一外
 斯乃一好方法之依子天新制敵之目的
 乃實敵之弱人にと人修之弱人にと人修
 意解之也

(12) 佛國之對名中出

以今因國十之五在東部佛國代理失修之湖

次官、末訪之佛國政府、新正制裁問題、
 之英國政府、乃一南方側力、強國要求之應、
 也、出場合如何制裁、加、中、中、中、
 國、先海軍官憲、一、附、附、附、
 者、古、上、信、久、之、付、佛國海軍指揮官、
 限、之、賦、與、也、之、中、上、附、
 趣、之、以、今、本國政府、之、日本政府、意見、承、
 知、之、度、年、各、新、令、之、接、之、日、之、
 漸、以、之、日、之、同、他、知、大、使、之、對、之、前、部、
 原、大、臣、一、英、國、大、使、之、對、之、德、國、上、同、樣、

右並十一日支那側之對要求ヲ提出シ且對
リ其ニ願ヒ給フ支那側ノ態度ヲ見極メ
テト然レ可キ答ヲ答ヘ置キ
以米國之對答申出
四四月十日國務長官
~~在米~~在米新平大
使下層類ノ際同長官ノ同日對美大使館
ヲ對裁問題ニ關シ以文據則セリト其ノ内
容トモテ前記以米國政府ノ佛政府ノ對答ノ中
知ト同様ノ趣答ヲ述ヘ

二、北平石佛洞會議之終止美國側之強硬態度表

明

四月十四日北平石佛洞會議主席上美國公使八

七、記要旨制裁之限有本所政府事變之披露

267

陳友仁之回答不滿其古為制裁之加予之十

一、場在王國英因之千五之進行也其（九）

一、處王國之先行

一、陳之回答之新觀之總見之十中否也

一、制裁之性質

第一考案ニカニ上ニ示シテ其國ハ保ニシテ制裁ニ関
 合適者ナシ意見ヲ却定スルニ於テハ英國政府
 ハ約束條限リ之ヲ支持スルニ英國政府ハ他
 英國政府カ強制手段ヲ採ルニトテテ其邦極
 端分子ヲシテ國際國民ニ對テ暴行ヲ繼續セ
 トト欲スルニトハ信スル統ハテ其意ニ万一二
 万幸ニシテ斯レ如キ事實ノ場合ニハ英國
 政府ハ其必要ト認ルニ措置ヲ採ル自由ヲ
 留保セラルベシ然レトモ英政府ハ其同僚
 諸前途ヲ模ルニ願フ英國政府ハ其意

3レハ下3最モ勢熱心ヲ希望ス何トモ此ノ一政
ノ保持ヲ欲ス故カ今平和ヲ維持シ五國ノ權利
ヲ擁護スルヲ望ム得ルヤレハナリ

三、英國側ノ際係國政府ニ對シテ勸告ノ提出スル
之ヲ撤回

英國政府ノ自月十番如地在外條在ニシテ未
大日本佛伊各國政府對シテ左記勸告ノ一節
書ヲ提出セシト地方同ハ北京五國公使會談ニ
於テ英國公使ハ本國政府ノ勸告ヲナリ前記

覺書上同樣一極否了據說又之所見見力型二十
日英國政府之本件措置見否各地使臣之制
令各地使臣一同白知覺書可撤同也
在案五國所便一同之回答案之其字同之同
意否各國政府力止之修否場合之制裁和
（平其要求了強制否有協同之可修程的措
置了執一同意否了之制撤上否上
是也也否佛他一國際國政府力否上同一意見
十九下並各國政府力全部在修否代表者之
業已否同之修否新漢之類事了通之平陳

在仁之同聲方新令及中下之新解一頁
英國之傳人在搭國之參加會一機
之英國政府之關係國政府力未大
傳之新之同標一刻令之發心之下之新解

四日未佛之國政府之意向

在新解之問題之英國政府之意見之聞

以我方之新令之新解之一切之態度之執之新

裁手之新令之下之新解之解決力

至南方政狀一安定之新令之國民之軍內

一 總健存子日總司右部一派、精神的援助
ヲ與人此ヲ激シ、其後、其之ヲ遂、或也、其
外、ト、一、趣、合、ヲ、以、其、態、酬、シ、來、レ、リ

(四) 米國政府、ハ、其、日、在、其、所、使、之、屬、制、シ、陳、友
仁、宛、列、列、ノ、一、方、ニ、同、同、年、通、牒、案、之、考、加、方、ヲ
新、方、ノ、殊、ニ、強、硬、手、段、ニ、對、シ、其、對、一、總、度、ヲ
表、明、シ

(五) 佛國政府、亦、陳、友、仁、方、ヲ、同、通、牒、案、ニ、對、シ
滿、足、ト、同、答、ヲ、身、ハ、其、場、合、別、同、例、ニ、於、キ
孰、シ、キ、措、置、シ、付、在、其、所、使、之、新、方、關、係、國、所、使

ト協議をなすに之ヲ承認するに假令何等カ一措
 置ニ出ツルモノト決意するに由テ之ヲ実行前豫メ佛國
 政府承認ヲ蒙ルヲ要シ且佛國政府ハ此措置ニ
 付關係國ニ對シテ同意する場合ニ限リ其責
 任ヲ負ハズトシ極テ微温的態度ヲ執リ
 為同政府所轄今乃其態度彈壓態度ヲ同
 情ヲ以テ迎ヘ從テ何等強硬手段ヲ出シハキ場合
 ニモ武漢側ニ對シテ態度トシ同ヲ承知ス
 至下掲第4ノトノ意見ヲ表明セリ
 右ノ月24日在佛國代現大使會知潮

五、美國側，態度緩和意向，表明

美國側小前知關係五國一意向二願三制裁四

[illegible]

日
北
京
關
係
所
係
合
議
之
所
今
美
國
所
係
人
本
國

政府ノ意向トシテ
商通牒案ヲ未定ノ
矢同

對五國中任何一
上之要求

列國間、協議を維持する為暫く制裁問題

義經
ヲ
ト
シ
テ
又
同
ヲ
削
除
シ
義
父
中
旨
ヲ
按

[illegible]

上海
本署

五月
廿六日
前接

因中外務大臣

欠回總領事

第七一五號

郭多海員等至本官卜面會之相談之日本儀

アリトノ申出アリ大日伍朝柜卜三名ニテ唐殿

又先以郭了日本對內閣對支外方針閣

ニ伺ヒタル貴下ノ御意見ハ其後事實卜シテ教

ハレ来リテ次知セアリ(後電知又四ノ号)伍朝

柜比明朝南京ニ赴キ務分外支部長ノ職ニ就

任スル年トナルハキ力失レテ付テ豫メ貴下ノ御意

MAKIZEN II

東本條の最初は陳友松の相子トスル機案ナ
 ンヤヤの新年ハ大ニ疑問ヲ有レリハ次第ナク
 承知ノ如ク五國協約ノ趣旨ニ依リ漢江政府ト
 交渉ナリ然レモ漢江政府トハ
 今ハ漢江政府ヲ相手トスルニトクナク
 然レハ
 蓋シ右ノ如クハ本條ヲ於テ之種々ノ理由ヲ有ス
 以テ之ヲ一ニナク申上リハ陳友松ノ態度ハ
 辯論ヲ急グル様ナリトナリ又而モ
 式ノ擧行ヲ以テ之ノ旨ヲ同様にシ難ク過キ

4

見^レ同置^キ日キ^ニ付特^ニ御来^ル加^ヘ算^ヲ願^ヒ也。此^レ中^ニ
 リ述^ヘ次^ニに後^ハ千^ノ二^ノカリ^一ニテ南^方高^級政^府
 以^テ武^漢政^府初^ニ移^シ十^ハ八^ノ南^方高^級事^件ニ関^ステ陳^述
 友^仁一^ノ回^答ク立^テ無^キ難^キニ付右^ノ回^答ハ大^體
 體^ヲ於^テ列^國一^ノ要^求ヲ答^レ認^ム己^レ也。一^ノ方^カ列^國
 國^々尚^モ不^レ滿^足ナリトハ如^ク何^カ點^ニカ不^レ滿^足ナリト答^フ
 然^レヨリ本^日列^國一^ノ不^レ滿^足トスル點^ハハ
 ハ一^ト一^ノ字^同ヲモ算^ス以^テ其^ノ全^體一^ノ精^神ニ誠^意ヲ認^ム
 ナ難^カリ^ニ點^ニナリト思^ハルカ爲^メ貴^下カ方^方一^ノ
 局^ニ寄^リ紙^上算^ヲ據^ニ憑^シテ本^日件^ノ解^決ヲ圖^ルコト也

ハ列國を敵とす。應答。吾等甘んばく如く
方法ヲ採ニ腹案ナリヤト腹案シリルニ表シ列
國ヨリ第二ノ一トシテ發送スルニトナシ假定モハ
陳友仁ノ回答ヲ認メ右ニ其中別ニ今又テ案スル
ナリシテ直ニ列國代表者ト交渉ヲ開始シルヲ其
ノ方法ハ例ハ本ノ會合ノ如キニテ開催ニテ意
見ヲ交換シ陳友仁ニ一ノ協定ニテ漢口、九江、揚
子河事件ヲ解決シル中如ク交渉ノ経過ヲ外部ニ
發表スルナリシテ實行段階ト述ヘ部ハ五國
ノ同意通告ナリ取出ニテ本會ヲ示シ終ニ順

同者之付本官ハ何等意見ヲ述フニトハ迷熟
 少御免ヲ蒙ルニ至テ條々ニ實行困難ナル事ハ
 十中ニ非ズ中要ハ南京政府カ心ヲスナハス
 トミエスル一ニ諸意見中如何ニ條々ト答ル事
 以テ外交通條約改訂ニ関シ如何日本ハ南京政府
 ヲ無視セラルルヤト質問也ニ付國民政府ハ代表
 者カ何人ナリヤ決定スルハ勿論帝國政府ニ交渉
 經過ヲ南方一脱ヲ拒否各理由ナキヘリ至都全
 般ニ至ル國民的要望如何トスナリヤヲ確實ニ
 握リテハ帝國政府ハ敢テ是ト云ヒ北京政府ハ

3 確実、據るに、八都府の、一、数、名、處、を、一、に、北、東、
 政府、一、三、に、相、中、に、テ、通、商、條、約、ヲ、改、訂、ス、ニ、モ、都、
 一、半、に、南、方、政、府、一、流、下、り、テ、全、然、北、東、政、府、ヲ、
 独立、也、以、上、條、約、ヲ、南、方、ニ、實、施、ス、ニ、ト、經、ハ、
 二、北、方、ト、答、へ、置、ケ、リ

田中秘書大臣

第五五五号一

北京
本署

五月廿六日
後發

芳澤公使

南京事件處理方之對人々米國及英國之態度
ハ即承知通りノ以知ニ先ク以方ノ處ニ米國協約
ヲ以テ之ヲ何日ニ至リ勢揃ヲ為シ得ルハキヤル
見當付多ク帝國トシテハ米國トハ協約可能ナル限
リ協約ノ方針ヲ出ツルコトハ得策ナルヲ認
メ余地中次第ナシニ其米國部會ニ依リ協
約不可能トナリ且ニ際ニ至ルニ米國ノ一變

REPRODUCED BY

二做己事ヲ精イテ再。右兩國何レカヲ心氣一
 精申出言途何答否ニ處中キヤ如キハ多邦ニ移
 ン帝國一兵賜ニ願ミ余ヲ解々ニキヲトニテ且又
 南京事件其ノスラ若クハ元美米一邦合人鬼ニ
 角トシテ斯ノ如キ非常古暴行事件ヲ放信ニ
 難キノミナラス若シ南方ニ對シテ之ヲ放信ニ北
 方ニ對シテ南京事件ヲ比較的邊ニ輕微中
 ン長遠九事件ニ就キ嚴重古多海ヲ有スモ此
 方ハ日本一遠以テ對シ面自ヤ中感想ヲ抱リ
 ハ中ハ當然ノ事ト信ス如キ者案ニ來レヨ

本トシテハ此際軍船多シク有リテ
 認メテハ此處日本軍船多シク有リ
 豫メ他ノ四國ノ物方ノ意欲ヲ通知シ置キ
 其末ノ二國ハ固ク異議ヲ持ク中略因テ有案
 ンノミナリテ感(情)ヲ表スルモ
 國ノ態度ハ尚不明古キ右ノ國ハ何レノ途程
 重キヲ置ク必要ナシ然レモ我方トシテハ船自一見
 地ヲ通ル者方ノ法ニ依リ軍船多シク有リ
 ンハント想フ所ニテ軍船多シク有リ
 其方ノ方法ニ依リテハ若輩ヲ通スル必要アリ元

RECEIVED

P. V. M. 27

539

一、例之照及之英國、駐留地協定、如日本、英國
一、大失劍魁之江（英國公使之江）親王居之
我方關係、事務之移、今元、五年、無線契約、實
他、過去、之、移、今、之、政府、一、關、之、締結、也、協約
契約、第一、非、法、政府、一、締結、之、日、之、一、ト、之、是、之
石、認、之、一、態度、之、如、之、之、故、我方、之、移、今、元、大、之、警
戒、之、要、之、次、之、也、
更、之、此、一、際、特、之、考、察、之、之、一、關、下、委、高、尾、總、領
事、宛、電、報、之、五、之、号、滿、蒙、之、總、其、他、對、辦、
之、日、本、側、代、表、若、派、遣、方、之、關、之、之、陳、在、江、一、申、出、

願、南京事件に付我方に於て單獨交渉の
 陳友仁の拘捕トスル場合或ハ陳ハ南京事件
 以外前記一事件問題ヲ提知シ来リ相互懸解
 也トテ擧引ラズ處トセト也ト是レヲ本來
 南京事件ハ一面ハ大々暴行事件ト過キスニテ何
 等永久の賠償ヲ得ルモノニテテ對罪ヲモ賠償
 償ヲ遂ケ處罰ヲ実行シ保障ヲ與ケルモノニ
 テ守打トナシキモノニテ勿論政治上一事件等ト同
 視スルモノト現狀ニ於テ事實上著々事ヲ運シ
 以テ其眼トスルモノ性質アリテテ從テ何人暴行

軍隊、有腦部及軍隊駐在地、於千島湖、十
 大、想、之、陳、友、何、之、國民政府、正、代表、者
 等、一、法、理、論、之、拘、泥、之、キ、非、久、是、答、一、見、地、有
 漢、江、政府、之、對、之、千、島、湖、之、現、在、一、信、ト、之、中、京、京
 通、牒、等、之、發、表、之、及、交、涉、打、切、リ、之、之、明、也、其、料
 東、必、之、正、式、交、涉、之、之、十、十、十、ト、ア、ン、(キ、錄、地、之、現
 之、通、ト、同、時、之、南、京、政、府、之、對、之、千、島、湖、之、現、在、一、信、ト、之、中、京、京
 的、(一、若、之、非、合、式、之、千、島、湖、之、現、在、一、信、ト、之、中、京、京
 解決、之、努力、之、試、之、コ、ト、ト、之、日、之、在、御、考、察、
 御、之、

PUM 27 ⁸/₁₄

電達 四二七号

二年 青 台 信 止 号

松本 芳澤 合使

田中 大臣

中 二 六 五 号

貴電 中 五 二 三 号 二 閣 下

南京事件解決 閣下 大 局 上 新 國 一 切 鋼 子 煤 精

五 下 概 十 十 肝 要 十 二 以 中 力 廣 次 統 策 配 号

即 承 知 一 通 七 處 我 方 十 二 二 八 最 近 迄 五 國 協

鋼 在 通 一 為 概 止 未 如 政 府 一 統 籌 方 二 號 々

一 方 實 佛 伊 三 國 合 使 一 未 示 以 際 々 四 國 協 々

幸 祈 勤 比 々 十 一 未 示 於 々 抑 々 果 々 已 行 懸 々

MARUZEN II

PARIZED II

下に不徳策を、適為一極を、候々懸念を
 要求、賢微の度、ト云う、又英園政
 府、意向、此際、引續き、武漢政府、ト交渉、
 此、無益、トト、且、下、南京政府、ト、交渉、
 二、付、若、果、中、十、カ、如、キ、下、在、莫、大、使、来、電、第一
 二、八、号、一、通、下、地方、南京政府、側、二、於、今、上
 海、總、領、事、来、電、亦、七、五、号、一、通、國民政府、
 力、申、急、二、轉、送、セ、リ、ト、一、七、前、一、五、陳、友、仁、一、同
 答、一、條、ヲ、承、テ、別、圖、側、ト、本、件、交渉、ヲ、開始、セ
 爲、中、意、向、ヲ、滿、セ、ツ、ツ、ア、リ、惟、日、同、政府、ハ、未、

草創一域之腹地 貴電牙四又一名五國所使會
 議者皆以此爲何一造境之元示已居于此際則側
 之於今今吾同政府ト本紳友所ヲ開始之人士尙
 早一嫌々ト思慕之故今茲同政府一基礎相
 商定之其一本件解決之對之誠意ト實力ト觀
 之ハ中又一アハ之至リハ其米實地國他國之形ナ
 同政府ヲ相手ニ合式者ハ形合式ニ交渉ヲ開始
 スルコトニ形々思存ナカハ之ヲ機巧トシテ之ヲ特ニ南
 方ノ形勢ノ推移ヲ注視シ之機合ノ至リヲ俟テ
 再ヒ五國協約ノ方針ヲ下シ南京政府ト交

涉之関於各事可也在上海總領事館
之上海南京領事館保護方一併
リ前記南京政府一誠意ト實力トヲ判斷ス
一様所ナリト思ヒヤル

右ノ決断ナリト以テ前記貴電御意見中結局
ハ終テ南京政府ノ相中ニ本件交渉ヲ行フヘ
ト一點ニ付テハ大体同意ナシト考テ二點中一は從
電知ナリ三は通令後南京政府ト交渉ヲ關
於スルニ付或ハ最後ニハ單獨交渉ニ可ハ外ナ
キトナリト考テ先ツ五國協約ヲ照會トス
方針ヲ付テ今御意ナリト

第三海外艦隊協定第四号

昭和二年五月十日上海和報

近藤牙一海外艦隊參謀

麾下各師長

陸軍戰隊指揮官 廣

南京事件之關之予以上之流布也

已憶鏡等一如予之對之予之意也今予一

無之卜雖之實際問題卜之予此一事也

屬之如何之進退及予之就予之海軍人

二、材料之警備、此乃各隊聘請之
 警備員之研究、平時之先令、
 極小、必要、認、
 通、新見、
 諸君、
 此、
 備、
 應、
 以、

(終)

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。



3

550

32

87

3-10-11

1940

東中ノ大ニトシテ廣クニ事ニ非ズ為ニ都下
 中ノ一將年中ニ成ニ事一因正非ニ迷リ又一ノ生
 ニ居ルヤニ知レシト一縣念モ下リ都ニ今日一情
 勢ヲ以テ何故何カ妙ニカ今ヲ一ノ其際
 其ニ元ト思ヒ忙中筆ヲ執リテ所見ヲ都下
 ニ示シ事ニシヨ
 但ニ凡ノ物事ハ色々様様ノ事方一已ニ
 了スル人ノ議論ニ事ニ及ハカ此等皆下
 ノ事ニ及ハカ今ノ都下ノ事ニ及ハカ
 其域ノ一都下ノ事ニ及ハカ今ノ都下ノ事
 其域ノ一都下ノ事ニ及ハカ今ノ都下ノ事

七十ノ事以發生一報ヲ得テ即時在感ニ由リ
 了然トシテ過キヲ忘ルル事ナクハ物ハ思フ所ニ
 已テ不ヨリトハ知ル事ナク意見ハ相違フハ人
 事ハ老ニテ貫ル鏡ヲ照ルニ名ヤナニテナク
 トハ断トテ置キト若キ所領ハ亦名ニ對スル教
 訓ヲ具的トシ断シテ事者一也新ニ觸ル
 月如ナキハ一トナク其ハ之新機ニテ置キ
 一而ナク大尉ニ對スル所見
 在木大尉ノ言ハ其ハ自決ニ由リ胸郭ヲ
 貫通シタル銃丸ニ候侍ニテ其機ニ心藏スル

REPRODUCED BY

MARZEN II

今此、所為、非難、之、事、一、難、點、之、帝、國、海、軍、
 一、武、威、之、廣、之、日、ト、云、フ、一、點、之、事、然、レ、正、之、武、力、
 廣、之、事、故、ウ、テ、武、力、廣、之、日、ニ、テ、其、一、決、心、何、否、之、際、
 之、テ、ハ、後、繼、制、之、考、究、シ、テ、見、ん、カ、先、ニ、角、此、一、漢、武、之、事、
 之、故、之、惡、果、ハ、對、外、出、發、之、備、々、ナリ、シ、ヤ、并、ニ、對、
 内、軍、介、士、氣、之、惡、影、響、ヲ、亦、亦、々、ナリ、一、點、之、見、
 所、對、外、之、新、事、之、見、ん、カ、先、本、大、尉、一、上、大、尉、決、之、事、
 之、何、之、形、勢、一、點、之、事、カ、此、部、テ、外、字、對、中、之、事、
 損、ハ、テ、其、一、日、本、魏、一、敵、有、確、起、一、事、之、稱、揚、
 之、事、未、知、一、個、人、ナ、ハ、其、事、之、錯、之、新、即、一、情、之、事、也、

日王一人ハカラス外人ハ之ヲ以テ日本軍人ハ弱ク
 ト考フニ至リハ其一人ニ十人却テ日本軍人ハ其
 ト思フ日一千人即チ今在ル武ヲ遠クヨリトスルニ至
 ト自決トテ加ヘ其綜合成果ハ對外ニ却テ著シ
 リ我武人ハ名譽ハ世界ニ披露セムヲ確信ス
 即チ此點ニ関シハ結果ハ既チハテハ露山功績
 大ナリト云ハズハ至
 次ニ對内一即チ將來一般海軍軍人ハ其氣力
 影響セムヤヲ考フニ現在一般軍人中此點ハ關
 与必ズ大ナル影響セムヤハ其甚クアリ也

PARIZED II

本方殿一此一行為ハ適者ナリヤリト云々

一與人ナリテ左様一場合ニ違フ様ナリト云々

手本ヲ點シ自ニトナリヤリト云々

全官一引費自決ト

一彼今人御援助ノ為ニ如此思存ハ軍人ト云々

一ハカヲ云々

一物種一不修ニ場合ニ於テ特殊ノ如キ事

ハ日精ハ友事者ハ一身ヲ以テ其表出ラヌ

ハキニナリ

ト云々トナリ一般ニ其表出ラヌ

例ヲ照シテ居テ身ニ善キ教訓ヲ給ヒテ居

ムト思フ

今依リテ著シ斯ノ際氣力大耐ル以下ノ同義戰

力闘ニテ皆驚レリト信定メテ居留民ニ此

ヲリ全部ニハ付トニ相違無キ戦戦セリ日ヲ以

一其場合ニハ然ラリテ驚愕ノ戦闘ニ非ラ軍人

ハ固已ヲ潔クナルヲ一ニ考ヘテ簡軍ニ精勇

一ニテテ發揮セシメ居留民ニハ日ニテハ日本力

本氣ヲ和セハ其部族ノ一ハ敵ハストテトハ能ク

命令ヲ以此活居ハ別ニ之ヲ留リテ其法ヲ上ニ此種

上全服一目的之「店留民」生命財產係屬「
 了」其「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 鐵箱也「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 是「了」鐵箱「了」見「了」一「了」大「了」之「了」之「了」
 「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 其「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 八「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 其「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」
 「了」之「了」之「了」之「了」之「了」之「了」

一、 紅 燭 年 子

一、
作圖
2
對已予決已予
帝國軍人，名錄
3
傷
4

子
子
子
子

二、内閣
對乙午軍人士
氣沮喪！因之
作等語

32

卜
信
又
~
!
子
R

之乃錄存之并見于舊本大尉公最早表

丁巳年十一月廿五日

乃途ヲ可ト思フ
此ノ
答前ノ
難境ニ
在ル

三、五、深、同、强、此、感、

其平日決已名陳白之精神之對滿腔之同意

之教名之外家之可中韓之身一之已

二、兵力ト之干起々之武裝者ノ覺悟

南京事件ニ於ケル高木大尉ノ責任乃至功罪(對)

十言辭干ハ下ルノ之際スル所見ハ前章ヲ述ヘ日通リ

干見然之也ノ事件其者ニ就テハ均考究(余)

地力澤山ノ珠ノ吾人亦即致無備ヲ服スルニ

ノ之對シテハ成爲無要古教訓ヲ忘ルノ干居

ノ干干リテ高木大尉ノ自決ヲ以テテ切テ推

干考之十人譯ニハ行カヌ一干已

實報一南京事件ハ執カシイ事案ナリ
 一者姑一局地一事情ハ異地又ハ異地
 何ニ詳細ナキ事情ヲ附キテ身
 二枚ワリ若キナキハ知厚ニ其情
 目下ニ詳細ノ事情ヲ電報ニ見
 留氏ニ其ノ意ニ大尉一報告ヲ
 考査シタカ依ルトシテ全然其
 行キ暢ナリ即チ船ヲ自存
 還イテ考査スルト不可能ナリ
 何ニテテ常ニ其ノ処置ニハ現

RECEIVED

P.V.M. 27

562

云
フ
ニ
帰
装
ニ
日
只
致
ニ
研
究
者
一
流
意
ヲ
要

名下一者情實一衡二者見人比之唯

道一處置ト修シテ既ノ且以之ト爲幸願フ哉

三 嘗 十 年 已 有 余 名 一 同 胞 亦 皆 樂 于 合 夥

1 既見う有ス〜トハ歌ニ剪重ス可キ重大哉

正憑
子
子
子
子
子
子
子
子
子
子

爭了許久，
優越主義的
直線主義

れ
 ト
 イ
 フ
 フ
 ト
 子
 足
然
 シ
 ヲ
 今
 何
 ヲ
 来
 ニ
 雪月

自然圖上
事神力
一切
一憤
波下

新日之衆生をエト作定しテ諸事悉トニテ其
 之知断る可キヤヲ考案スルニ凡テ一人ノ必ス在テ
 于斯ノ如クハ今一処置ニ出ツルヲ以テ之ヲ察ス
 他ニ異ナリハ此處ニトトイフ者ハ十ナク同リ
 ヲリ悉ク此ノ次令ニエトハ再生シ日増シテ其
 今ニ至リテ行リト云フニ惜ナレバ前ノ年ハ其
 情ニ致テ最良ナリト云フニ至ル絶對無二ニ
 テハ其家ノ家地アリト云フハ不ハナリテ
 人其地ニ起リテ来ニテ
 抑又其地ニ起リテ来ニテ

[illegible]

軍下正事實然題下之亦常難
 之イコトヲ適切之處理ニ行キカ
 吾人警備者一才一技
 千戸一戸
 軍艦人常ニ國威發揚ヲ必
 掛ケスハナラズ然レモ
 敵警備艦ノ戰守ヲ求ム所
 ニナリ威嚇ノ
 ヲ求ム所ニナリ在領邦人ノ
 生命財產ノ産業
 振興等ヲ含ミ廣キ意味ニ於
 テ一保護ノ為
 ニ求ム所ニナリ此等細事トモ
 迄審クテ
 千戸怒ヲ千戸憂フハ各地
 共ニ憂フ所ニナリ
 山已ニ千戸中目的カ目
 的千戸カヲ却人ノ榮

MAKIZEN

展ヲ阻礙スルヲ助成ス標ニシテ如何に不
可成ヲ可成我儘ニテ居ル今日我々が邦人
聊カ一無禮ヲ為シタル故に以テ或ハ吾等
邦人ヲ迫害シタル故に以テ直ニ之ヲ武力
所懲ス可クハ恐ラケル邦人ハ警備艦ハ計
ケル處無人ニ對シテ迫害ヲ受ケルニ至
ル可シ些細ノ事ニ對シテ武力ヲ揮フテ排
日思潮起リ我々展不可成トスルニ至
速ニ之ヲ止ムト一歎辭ヲ附シテ去リ
年々警備艦ハ長崎港内ニ應じ

重々拳踏ニ居リ且ツ其邦人カ余ヲ乱暴ナリト云
國其德忍ハカリシテ居ルニ業々老モテ其斯
ヲ聞カズ却テ強ク諫諭ヲ聞クヲ以前カ
屬此ノ水難カ有リトイフトハ其心ハ十ヲ大
事ナトシテアノ元來武力ヲ發揮スルニ力備
ナリナリ強カ好レテ隱忍ノ柔和ヲ過シ
誇ラセテ居ルニアツテヤ其邦其備ナリ
三年ナク其化ムアツテ酷暑ニアツテ其
實ニ此ノ軍人ニトシテ其最モ嫌忌ムル隱忍ノ
ヲ賜フハカウガニ其心ナリ然レバ其心
新ニ同

二海、其ノ中、下、地、十、
艦、海、艦、力、底、留、民、ヲ、保、護、五、七、部、力、ヲ、以、テ、
五、一、一、途、ア、ル、一、武、ヲ、決、ス、ト、一、ヲ、保、護、合、
ヲ、ト、解、サ、レ、ア、ラ、ス、

ト、一、ヲ、是、ナ、リ、今、何、リ、ニ、其、地、ニ、五、五、十、在、
留、民、ア、リ、ト、一、年、新、地、五、部、軍、隊、ハ、一、日、本、軍、
艦、護、ヲ、以、テ、軍、場、ニ、テ、警、戒、ヲ、表、ス、ル、ハ、自、然、
ヲ、ス、レ、ハ、五、五、十、一、部、人、ヲ、全、部、屠、殺、ス、ル、可、シ、
ト、脅、迫、ニ、テ、一、ヲ、実、行、ス、ル、一、実、力、ヲ、有、シ、且、
一、先、手、一、実、行、可、能、性、ヲ、有、シ、ヨ、リ、ト、後、定、

又者該船ハ其智求る客ハ其力
 不明時ニ否ト云う可シニ万五千ヲ得ルニ万トスル
 否ト少ナリトモ自分人會下ニ答ヘンニ躊躇セズ
 ハ決シテ二万五千ノ人命ヲ犠牲タルカヲ千ハナ
 様才馬鹿ナリト云ふ如ク要求ウ肯イテモ
 肯カレテモ結果ハ同シトナルモ其地抗セズ
 勝リ甘受シリトシテ其貨ノ所乗ニ乗船シナリトイ
 フトモ信用ヲトクシテ還ケルカヲ万五千カニ百五
 十万ナニニ万五千ナニ構ハレ喰ハルカ中痛掃ハ
 当方ニモアル如キ客一云フナリ聞クノ限リ千ハナ

個人の場合亦今し平服にして上陸し居る場合之を
 人ノ危難ヲ知りて為るべく驛後ノ股潜りヲ士ニ實
 告げりて然る可し然し乍ら暫くは武裝して在り
 以て一永矢今も4万人ト雖も其邊に止る概
 十カ町ありたり
 警備ノ戦争ニハイカ否も武裝して矢力トして
 在り日場合も矢一掃の可中処置ノ戦争ト同
 様トらん即ち
 一武裝して矢力トして在り日以上新し武
 装済む可ラス

二、故、兵力トシテ行動を軍人ノ進退ノ最ニ

要ナルヲ要ス

三、其ノ代リ元來カ戦争ヲテナイノテアリ飽

親善ヲ閣下ノ必要トモノテアツテ武力

使用ノ必要ノ起リ又極力豫防多クス

トイフ様ナコトニナル此ノ事ハ從來カテ

制ヲ解ツテ居ル様トモ思フカガ念ナリ

申述テ置ク

三、支那並權ハ

有聲ノ邦トシテ新シテ武ヲ講

へ日其しう誤解スルに因りて一ニ一例ヲ示
 して間違ひ豫防スル
 南京事件ノ前日領事館人自働車ヲ武器ヲ
 密送中士官二下士官兵共ト共ニ途中警知
 一北軍に隊ノ為ニ押へられテ拘禁上人ノ責
 還しり力武器を隠しテ逃遁中其ノ型
 號ニ依リ北軍駐兵ニ南軍カハテ来りテ北軍一
 所屬物件トシテ押收せし者ト甚遺憾目下行街
 不明ナ
 此ノ事件ト世間一部テハ見ツト誤解ヲ惹
 起スルコトナリ

ンテ海軍ハ隱ミテハ様ニ思フテハ内モ言フニイカ
 別ニ其ノ必要ヲ認メナイカゾ一般ニ衆教ハ居テ
 イカ隱ミ後リモナレハ又隱ミモナリテモナリ
 之ハ何論モ善イコトナハナリ然レハ人カ連レテ行カレ
 年モ武器ヲ取上ケラレテモ之ハ前幕ノ所制漢武
 二ハナリナリコトナ格闘ニテ解決名限リテナリ
 一ナリ
 一 体租借地（張大等）ナハ堂ニト兵備弛緩シ
 ナリ其方ナリナリナリカ租界ナリハ武備ヲスニトイ
 フコトハ法理上ハ正ナリナリト云ヒ得ルハナリナリ

又領事館に大使館に治外法権を設け、
 同シトイヘナキ、日相チヤン、只開港場ニ軍艦
 カ居ラズ、又宣シ、イト云、條約カ、カ、カ、海軍陸
 戦隊ノ之カ附随物トシテ、慣例上問題ニナラ
 シ、陸ナリ、迄チヤ、チ、陸軍ノ上海租界ヲ移シ、チ、
 日英兩國ニ對シ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、
 シ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、
 議ヲ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、
 況、シ、チ、租界チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、
 事館ニ武備ヲ施ス、ト、チ、チ、チ、チ、チ、チ、チ、

ナイ承知ナリキニ必要カバト無輸没在法ナリ
 ハズニモ那領出可武器輸送スエトヤ又ハ武装
 兵ノ行動スルエトナキ那側カ料ソウ暗ハナリ(今度
 元事仲前那國領事國會議テ如銀ヲ以テ
 那側ニ本件申請シタ拒絶セラルト一説)從来
 ト車ヲ横ニ押シテ東日出來ハ然之ヲ變
 ケルカ者ナトワテハ都合カ良イエト同額ヲ下
 ヲテ相當ニ遣リモスルカ横車ハ腕力以外ノ理應
 テハ通ナリナキ那一方カ腕力ヲ強ケルハ向テハ勝
 手武器人モ一應ハ拘引セザレバ少殊ニ近年ノ如ク

別強カ多額一々權ヲ相与ス以上ニ銀ト支那ニ亦著シ
ク等シテ有限外ニ自權ヲ金貨ニテ来日現今
ニ於テハ武力奪回ニ違フニカ後後テ爲メハ
クナ結果中東ト思フ

無暗ニ國際公法ヤ條約ヲ習熟シテ退嬰

ニテ固クナ必要ハ同額ナリ手際自ラ違フハ大

抵ノコトハ違フテヨイノテパルカ仏權ニテ捕ヘテ

レバヨ百年月理窟ハ同フ一方ニアルテアルカヲ

愈シテ穩便ニ文明多海ニ移スノテアルカヲ武

濟シテハナラヌ等ト思フニ富國戰力闘シテハ

ケナリ一テア

今一ツ類例の場合ヲ示ス上海ヲ含む方武裝シ

テ間違フテ粗界外ニ在リ支那軍隊カ来テ

捕ヘテ武裝解除ノ上運行シ日(實際)綏綏ヲ移

ワテ橋ワテ居ルニテア此方王國ニエトヲヤツテイ

之ニ同様無論名譽ニハテカ間違フカ一カ

大ナシク云フ通りニシテ置イテ後手始末ヲケ

外ナ

右ニワノ場合ト單ニ一例ニ過キナ定例

場左ニテ武裝兵カヲ等ト思フテ奮闘

シテハイナナインナニトスルハ、エグワナニテ

此ノ場合ニハ文明ヲ海ヲ取戻ス外ナイン、イ

ウ乱脈ノ多キ今日ノソウ何デモ腕力ハカリテ

ハ行カヌト同義ナリ電系ヲ云フ武ヲ漢ス

カラストイフハ矢加トシテ女ウハル場合ニト

ナリ武器ヲ持ツテニ總テノ場合ナハナリ間違

ハナリ

序々南京總事館一隊ハ武裝シテ女ナリ

ニ兵ナリナリ同義ナリカウ日然シテ總事館ニ

遊エニ行ツテ居リテハナリ武裝ヲ有シテ

32

MARZEN II

展マロイテマフ本棚ニハ適合ニナリ

領事館保護(居留民)研究

南京ノ領事館ハ

一、江岸ヲ距ル約二里(日本通)処ニ在リ

二、其ノ江岸ニ近キ所ニ城壁力アル其ノ城壁

ハ堅固ニシテ大時砲彈等ニ到底破レナシ

且ツ高サ概シテ十尺厚サ概シテ三十

尺アリ梯工外力ヲ掛ケルコトナシ

故ニ領事館ヲ防護スルニハ龍城ニ外ナシ

94

全支の五の排白の確成を以て豫め撤退の日を
 カ算し、一ヶ月の間に撤退トイフ事ト海軍士官に
 ハ命令機中より領事一三三の府スニテその命令
 ンテ元閣下二人に無給の其一人に故傷スルニ
 トト又又實際問題トシテ支那一様々無敵艦
 察國の形テハ撤退トイフ事ハ臨時休業ニテ
 然レト陸軍ニテテ了ラ場合中テテテテカ
 艦隊留民の中ハ撤退ヲ承認シテ一ヶ月現存
 地ノ居留民ハ撤退命令ニ服従シテ其の日撤退
 フトシテ其レハ若ハ外務省側ハ撤退ヲ云フ

RECORDED

P.V.M. 27

582

予限ハ一ニテ大抵大正夫ト思ハ撤退ニタイニ
 今迄各地トモヤウテ来リテアリ今テモ又恐ラクハ將來
 モヤウテ行クノテアリ五ハ勿論即犬一吹テテ無暗
 ニ大事ヲトワテ万全ヲ期スルヲハ毎日迭仕度ヲ
 必要トシ支那千ハ一日モ安住ハ出来ナイノテハ斷
 一當時南京ノ我官民ヲ撤退シテ居テカウヨ
 不思議ハ無イ

然シ乍ラ過般南京鎮事館ヲ大丈夫ト思フ
ハ倭令雖一意見ヲ盡セテハワリニテモ大膽
運テアツタムト人事實上明證セラル店ヲ

之ヲ撤退、時期ヲ失シタルニ付、然レテ亦、
 其ノ大地震ハ、イト思フテ、潰レ、朽ナ、煉瓦造中、焼
 ケ、朽ナ、木造家屋、倒レテ、居リ、日、大正、四年、
 東京市、民、ヲ、賣、ト、ト、同、様、ニ、無、理、ナ、
 正、統、兵、力、外、國、領、事、館、ヲ、武、力、襲、撃、ス、ト
 云、フ、事、ハ、公、刑、例、ノ、下、ニ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 船、ノ、毀、滅、ヲ、完、成、シ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 一、ト、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、テ、
 ト、テ、テ、日本、全、國、今、地、中、ハ、準、備、シ、テ、居、リ、ト、同、ジ
 テ、テ、テ、領、事、館、ノ、死、守、ス、ル、ニ、過、少、ト、思、ハ、ル、ト、

名、下生官兵、一官指揮、下、派遣、サ、増援
 ヲ、送、マ、ト、エ、出、来、二、内、ハ、大、機、動、ト、他、ハ、而、力、五、司、令、一
 意、志、ヲ、ハ、勿、論、十、リ、又、兵、木、大、尉、本、来、一、考、テ、
 ナ、リ、シ、テ、武、備、ヲ、廢、シ、テ、斯、ノ、様、十、日、ハ、全、ク、マ、
 ハ、送、マ、送、マ、遣、感、ヲ、
 勿、論、大、地、震、ト、同、ク、テ、貴、ノ、際、ヲ、
 貴、ノ、ハ、無、論、無、理、ト、思、フ、カ、兵、ヲ、如、ク、
 死、守、ス、ル、死、守、カ、迷、惑、モ、テ、他、對、出、兵、也、
 イ、フ、聊、カ、自、己、本、位、ヲ、從、来、一、實、際、問、題、ト、シ、テ、
 ハ、場、合、ニ、ヨ、リ、テ、ハ、如、何、カ、ト、モ、思、フ、カ、海、軍、ト、シ、テ、

月ノキ申出ヲ為シテ置キハ問題ノ起リ十カ月ノ一テ
 ンカ又大地和長ヲ引合ニ出スル思ハ今様
 方ノ日トニ飛ン日ニトカ起リ此ノ様ナ理合ヲ言ハ
 系ハイヲ子ニトニナウテ了ワ日一テヤ
 三ノ就ニ此ヲ非常ヲ大印ナニトテアワテ警備艦
 長ハ常ヲ左ノニトヲ志レテハナラズ
 一兵ヲ出スルヲ必ス死守スルニトニカ不可ナラズ新
 シテ出サヌト
 二、武装セズ兵ヲ守備又ハ三ニ起ス目的
 日ヲ知サヌト

之、但、無線電、修、又、修、多、通、修、連、絡、等、兵、力、
ト、シ、テ、ハ、ナ、イ、所、ノ、士、官、下、士、官、兵、ヲ、是、非、楊、陸、
セ、シ、メ、ル、必、要、ノ、ア、ル、場、合、モ、ア、ル、ア、ル、口、ハ、其、結、
臨、終、ノ、処、置、ト、服、装、其、他、左、部、臨、終、非、軍、
人、モ、ア、ル、ア、ル、ア、ル、

之、ハ、大、切、ト、ア、ル、局、地、帝、國、官、兵、ト、友、情、等、
絆、セ、テ、シ、カ、ク、兵、ヲ、揚、ゲ、ト、自、分、ハ、勿、論、海、軍、全、般、カ、
固、ン、ア、ル、ア、ル、ア、ル、兵、留、官、兵、ハ、心、細、ク、思、フ、ア、ル、ア、ル、
軍、ノ、自、衛、上、兵、ヲ、ナ、イ、新、然、必、要、故、リ、ア、ル、ア、ル、
為、聊、カ、躊、躇、勝、テ、ハ、兵、ノ、力、序、ノ、ア、ル、ア、ル、南、京、事、件、

関の第三者一編論の上の相43と3序の二二研
究の二見カイト思の観骨の二中の二見ヨリ一は是れ

第一、神領事館と通修村絶シテ以来昭和
迄何等カ救出の関の講の構ん手解部

ヤ

第二、邦人避難新の二ヶ所ハ一ハ領事館一ハ

清の二ヶ所ハ前者ニ就テハ既に叙述ノ通り

名者ニ於ケル保護不充分ヲ指サシヤ

在在所の二對テハ答へトス第百四即チ領事館

接の関の二ハ或ハ此電信機ノ議論ニハ二日

REPRODUCED

然シテ予ヲ憐而然ヲ人如何ト云フ為シ得タル可キ中ト
 言ハ之ト申ス可キ多寡十ナカレシモ之ヲ示シテ又具體
 樂ヲ承リタリテ其ノ同ニ對シテ之ヲ打ツヘカリシ
 一現跡ニ至リテ然レトモ入格ナルニナレタ
 然レモ其ノ際係諸官一有特顧慮之ニ唯レ一
 點レ切一政變動作ハ城内邦人一毫殺傷ヲ
 致スルコト言フニナリタリシ中又迄ニナリタリ
 致スルコトハ無難ナレト此一判斷一適否ハ人ニ
 予也ト意見ナリナリ今ハ之ヲ予ハ強硬
 一方力認ナリ惜イヨリ然レト斯カニ情勢強硬

REPRODUCED

ハルノ一巻矣多軟ヤリシカ故ヤト人ハ體統ニシテ
思フモノヤルモ思フ所ニ依リニ硬ク手腹ヲトウタトスルハ又
凡クノ悉ク硬ヤリシカ故ニ歸セトスル傾カニ靜ニ
實見ト併ヤ考ヘスル本カ所ハ分ヲ又
之ヲ要スルニ南東事件ノ一切ハ

南軍正規兵ヲ領事館實ニ他ノ急襲シテ掠
奪暴虐ヲ敢テスルモト覺悟シテ隊ヲ其津
浦ヲシテ置ケル事モナリ漸シカニテアルヲシテ十
イ限リトノ様ナストウシテモ相考ニ據る方至道
案考ハ免シ十カウタ思フニテ據る方至道

一 情況判斷不良トイフ事ニ至ル準備トイフモノハ情
 況判斷ニ基キヤルモノナリ本件ハ準備不完
 全トハ人々準備ニ付テ色々考ヘテアリ實際要
 實跡ヲ確認スル即チ準備不備トイフモノハ寧ろ情
 況判斷ノ間違テ居ルモノト云フニ歸ス然レモ斯ノ
 合斷ヲ判斷シタリハ当然テアリテ國官民全部力
 ヲ入録利ヲシタリテヤルモノハ極端本尊主
 義トイフナリ其長官ハ自分ニ依テ斯ノ云
 フ南京ハナリハ意外ナリ日各地其殘ヲ引上
 げサレタリ南京失ケル大失ト思ヒ深山貫侯

林ノ下路ヲ日一分

犬ノ一歩ヲ思フ

テアムカヲ如ル情況判斷ヲ競フ日ト無

現ハイト思フ者ニ修シ彼ノ情司令ニ先見

明アムカヲ今ノ案ヲ採ルナ南軍兵ヲ採

カ元知シンカヲトイトテ領事以下兵

ヲ追フ日ト候定シテ俄今彼等ハ云フ

日カト云フト取決シテ肯セ十カワ日

アロウトイトアトヲ斷言シテ降

以テ後今現座ノ云ハルカ實際問題トシテ如何

此以上ノトカ造リ難カクカヲ想儀スルニ足ル
 此、居留民關係ノトヲ今少シ序ニ述ヘテ見ヨウ
 諸ハタカニ度ンケド此暴兵力領事館ヲ襲フ日
 時ニ表シ蓋木ヲ射カテ掠奪ヲ武人カ就過スル
 行カテ直ニ奮闘スルトイフ日ナシ人夫ナリ人兵隊
 等々未ダ賞ヲ一ナシカワタト居留民一同ハ云々
 中ニシテ表シ夫ナリハ全然居ナリ方カ要ニ安全ナリ
 中ハ申込ニナリヨコテ豫ナ情態スルトイフ日ナリ人
 民ハ必ス海軍ノ不親切ヲ鳴ラシメテアロシ本件ハ
 常ニ難カシイ問題ナリテ忍辱ヨリ人必ス生

命ヲ即ケルニハ今保新友ナク
 丁卯年秋大場今モアワアハ
 軍ニ高麗ニ下モ又容易ナク
 以撃精神日ノ勇氣ヲトイフ
 ニイ問題ナクイテアハ思ハ
 一是起テ新友ナクハ夫レハ
 為新ニ可考アヘキ下元来此
 ニウ助ケニ来テ居ルニテア
 ニモナクナリテアハ世殊疎
 豫ナクイハ中斷シテ無抵抗

カ知来ニ思フニ橋渡人ヲ食フカモ知ラレテ歸メテ
 吳レバハ己ノ敢然大奮闘スルカヲト云ハニヨイテ
 ハナイカト云フ議論ニ有ラリ然レバハ現寓ナリ
 テ永ク其ノ土地ニ居テ保護ノ必要上層ニ格段
 懇切ニ衷心ノ親切ヲ以テ自命第一生活ヲ暗
 シテ途彼等ヲ助ケト志シ来レテ指揮官トシテ
 人情ニ於テ實際ニウイウコトカ如何ニ云ヒ難
 カクカテハウカ況ンヤ万カ一ニ至正親友ノ暴行
 咎思ヒ至ラナカクカ知テ一決沈ニ於テオモウ
 テ新ニ至ルカ知テ一若無事ニ同階禁セムカ

カビ

日清汽船、ハルワテ元江標ヲ却テ人々南軍兵募

行、因テ為スルヲ小銃ヲ持タスニ居ルヲ見テ驚ト

報、旨テヤ、而シテ保護被保護ノ心ヲ上ルヲ

親上氣分テ一部命立ヲ銃シカ、テヤ、理屈ハ今

述ヘ、日越事館ト同シト、エヤ、カ、黒久、カ、難

カ、ン、ハ、新、日、存、其、前、決、心、ニ、在、ル、ハ、リ、ニ、足

ヲ、入、サ、セ、レ、ハ、者、然、ニ、ウ、ナ、ル、ト、考、ヘ、ネ、ハ、ナ、リ、ナ、リ、テ

ア、リ、タ、リ

第、リ、最、ク、ナ、カ、リ、道、者、ニ、切、リ、上、ヤ、ル、ト、ス、ニ、即、チ、此

次トトウ云々ヨ日ヨ南東領事館カ表シタル位
置ニ在ルナラハ駆逐艦ヲヲ揚ケル陸戦隊位ニハ保
護ハ出来ナイトイフコトヲ云フヲ早ク撤退シテ貴
方ノ外ナク之ノ南東ニ限リタイ撤退ニ必要ナル
兵力保護ノ之ヲ加ヘンコト勿論ナリ此場合
居留民ニ殺傷セラルコトハ即ち即ち毒ガス攻
方ナク勿論其ノ以前カニ海兵ニ会戦ヲ繰返シ
テ必要ト云フ外ニ身ハナクナリ然レ共
レテ現案ハ宜シク遣外艦隊ヲ義勇隊ナ
海ニテナルヲ賜来ストウシテ之ヲ一ナク遣テ貴

ハ系ハナリト思フ即チ總テノ領事館ハ守ル必要
ナキト松別ニ云

一、海軍ニ近ク軍艦自ラ碇泊シ視界内ニ在

リ

二、或ニ期間籠城ニ迫ル程備ヲ有スベキ

是ナリ然レバ領事館ノ保護久キ事ナク此地ニ

於ケル邦人關係ノ全部ナク編入此ノ様

ト必要ナキ様ト張總ニ對テ關係力有

ナリハ領事館ノヤリ保護シテ何モナクナリ

カ不ナリ領事館ノ限リテ維持日清汽船

三井三菱、如中頭部、之ヲ保護シ、日ノ千ハ特
 二五部、充テテ十ハト思フ、彼、日本内地、千ハ開
 業、如東、工、醫、者、ヤ、日本内地、千ハ開、舎、千ハ能
 元、買、ハ、又、品、物、ヲ、賣、テ、少、賣、商、之、至、ン、迄、安
 シ、シ、テ、業、之、就、キ、得、ン、様、之、對、テ、開、您、ヲ、置、ク
 ト、イ、テ、エ、ト、カ、先、決、定、フ、問、題、千、ハ、ン、千、ハ、申、ス、迄、モ
 無、カ、以、リ、ト、思、フ
 以上述、フ、ニ、如、脱、線、重、複、冗、長、ノ、嫌、ハ、千、ハ、力、感、
 日、俟、テ、余、ヲ、修、正、セ、ル、ニ、皆、書、イ、テ、見、日、之、千、概
 不、自、分、一、本、件、ヲ、國、名、所、見、テ、述、ハ、日、ト、思、フ、此、

目的ハ一、当婚其一、衛一、當一、金力ヲ尽シ、日者、田中
修、能木大尉、物々ニ年シ、一、今、依、以、當、一、陽、金、之、
自、方、十、カ、ハ、如、何、之、カ、ト、イ、フ、ト、ウ、參、考、ト、シ、テ、本
ヲ、イ、フ、

最後ニ、衆、衆、千、一、衆、ニ、テ、選、年、日、イ、ハ、金、財、カ、硬、手
多、少、其、非、難、カ、ハ、決、ハ、軟、之、選、之、金、財、カ、一、面、カ、
軟、弱、千、ア、ハ、日、ハ、思、フ、ト、知、カ、同、目、一、強、硬、之、選、手
千、又、巧、リ、行、カ、又、コ、ト、多、イ、近、解、一、多、部、カ、終、下、減
察、若、衆、ト、イ、フ、千、實、シ、イ、コ、ト、周、知、一、通、リ、テ、見、不
法、事、件、之、對、シ、テ、全、部、未、解、決、一、遺、之、十、カ、手、限、之、

EXHIBIT I

冷靜沈著。世間、毀譽褒貶等、惑ハセズ、
不_レレテ己_レ所_レ爲_スク、イテ執意シテ最善ト信_スル所_ニ
落付_テ行_ク、野行_ク、外才

五月十一日

松井大傳

九月外租人下院
2 於 3 南系事件 3 男大

南系事件之對台第一次通牒
陳友仁

付
2
日
w
際
陳
公
南
方
政
府
外
務
部
已
于
同
政
府

人 尚 情 長 江 以 南 了 掌 掩 之 料 之 坊 乃 了 之 矣

配
心
上
乃
一
勢
二
尸
尸
性
手
熟
事
件
二
對
心
責
任

少
夏
入
半
政
府
上
總
大
小
元
府
日
陳
大
其
政
府

八軍、極左派の代表者、少く派派、在抗
藉、今、北、南、高、別、國民政府の創設
事態、今、全、一、考、也、り、依、り、英、米、其、他、別、國、の、陳、述
回答、不、満足、す、る、種、々、之、に、對、し、予、一、通、牒、を
送、り、之、無、用、と、し、決、定、し、今、や、偏、に、排、外、運、動、を、行
々、別、國、に、共、同、の、新、文、明、を、建、立、す、る、中、政、府、の、一、實、現
の、期、を、移、す、る、り、英、米、政、府、の、新、の、政、府、に、條、約、を、修
正、の、商、議、を、行、用、意、す、る、と、考、へ、右、の、政、府、に、其、責、任、を
執、り、英、國、民、の、受、け、る、果、行、の、對、し、賠償、を、得、る、り
要、す、る、と、同、額、を、英、米、に、徴、せ、る、事、に、對、し、意、を、表、す

漢江底留地一處令之得平如此精神之足以取利之法

已如之陳亦其一一派人之酬之之景度之以及

故之其亦八該取極之以及國民政府之身一行之

之無終下Tyhwa一卜見做之底留地之為同之充

一現由之有之三一十下之是乃為同一為一之

有下之元今中 *Impressat Policy* 八排陳也

之終之新之其部一之友如國係極立之念下之

之此一手能之出之其下之決之其此一際陳之

對之其之決通保之發達之性之七之其下之

但之不法一學之P之場合之其之行之其之其

PV 727 9/14

大臣會見錄 (六)

五月十三日午後英國大使來訪

英國大使手通の「4エンバレン」代「17ワセー」の

淵次官の手許迄差上げ置かれ御覽被下らんや

ト「閣下」對し大臣ヨリ右「17ワセー」ハ自分「深ク

「アフリシエー」ト「シ」ハ所「シテ早速閣議」に於て

閣僚「前」之其「内容」ヲ披露シ置かん「ト」答へる

更ニ大臣手通の令議「節」~~以下~~「南」京政府

今後「英」政府「相手」方「ト」なる「付」御覽「なり」ん

「早速」本國へ電報「通」年「見」度英國政府「に」於

元略に同標一急見う拘りたし折かし一事ト早
 速漢口政府の對同政府の終り南滿事件一
 二付荷元文明政府一執へ中費此う執り増し力
 故に最早之レう相争トシテ海を一撃トキ
 通告之日に上同地に在り日英一代表者に引揚
 げり府下之レう決定し日英一電報に據りト述入
 日英
 大臣より英政府より決定し然るに通
 賢の古措置ト思ふ漢口政府より先般日本
 政府の對之レう代表者派遣を依頼し来り見力

自今ハ断然之ヲ拒絶セリ

抑ハ陳安仁ノ如キ各國ノ代表者ヲ漢口拒絶シ以

テ漢口政府ノ基礎ノ鞏固ヲ示ストク其七掛ケトス

ハ五ノ十ハ依リ自今ハ代表者ノ派遣ヲ遂拒絶セリ

ハ次第ニテ從テ英國側ノ合同ノ措置ニ賛明セリ

リト思召スハ次第ナリト述ヘリ

ハ今英國大使ヲ南京政府力果シテ外部トノ關係

ヲ樹立セテ外部ト間ノ紛争事件解決ヲ圖リ

得ハ糧食ノ鞏固性ヲ増シ且ハ付英國政府

ハ閣下ノ御意見ヲ知シテ下ヲ敬ムハ言フ述ヘ

2 大陸ハ 蔣介石ニ 對シテ 共産派ノ 撲滅ヲ 外國ト
1 關係樹立シ 漸次 遼南 遼北ニ 移ヘ 東ニ 力ヲ
シ 親シム 爲メ 答ヘ ン

更ニ 美國大使ヲ 蔣介石ト 張作霖ト 北方派ト

間ニ 妥協 爲メ ハ 連絡ヲ 付ケ ン ト ス 運動 爲メ 力ヲ

中 蔣介石 意見 如何ト 問フ 、 大臣ハ 蔣介石ニ 對

シテ 共産派 撲滅ノ 爲メ 事實 熱心ニ 努力 爲ス

シ 然リ 北方 派ト 雖モ 赤賊 打倒ハ 豫メ 本ニ 主 張

セ ン 以テ 少ク トモ 蔣介石カ 武漢派 攻撃ノ 爲メ

西進 セント スルヲ 北方 派ハ 強ク 防衛 爲メ 中 理由 有リ 此

已之南共、安協、甚願、見出、解、如、此、斯也
 解、終、名、は、安、協、は、支、那、大、勢、力、に、比、し、る、に、千、年
 之、若、く、は、明、の、無、用、一、言、吸、干、満、の、試、み、に、キ、エ、一、事、
 不、ト、述、へ、る、レ、カ、ハ、英、國、大、使、を、當、て、然、り、ト、テ、之、を、首
 肯、ス、ト、其、他、の、意、に、支、那、人、自、身、の、努、力、に、依、り、若、珍
 將、兩、派、毎、協、和、を、為、す、カ、如、キ、ハ、其、言、は、に、之、を、一、統、一、政
 府、ト、見、做、し、之、ト、新、日、の、關、係、を、保、つ、同、時、に、維、持、一、整、
 争、の、題、を、解、決、す、因、ら、し、る、に、千、年、の、後、キ、エ、ア、ラ、セ、カ、ト、亦
 同、じ、日、に、カ、大、臣、ハ、之、に、對、し、將、兩、人、の、行、動、一、行、懸、り、
 又、繼、其、提、携、握、手、を、之、に、不、可、缺、す、一、親、ナ、ラ、ン、義、

之此ヲ終テハ今後亦即チ相手トスル事ナリ、又、
 因、問、チ、之、一、諒、解、者、チ、何、定、チ、遂、チ、思、フ、之、
 其、中、チ、ハ、其、間、其、同、ニ、表、リ、ハ、其、通、一、措、置、ヲ、執、ル、ト
 ト、シ、者、ト、ノ、却、理、ヲ、有、シ、居、ル、處、之、ハ、何、チ、一、問、チ、即
 所、見、如、何、ト、問、ヒ、且、ハ、大、臣、ハ、斯、カ、ハ、諒、解、ヲ、遂、チ、得、
 ヲ、極、メ、チ、終、極、ト、シ、但、シ、相、手、方、ハ、其、部、ヲ、シ、テ、其、部、
 事、態、ハ、終、チ、刻、々、其、他、シ、行、キ、マ、ワ、ル、ト、ハ、其、ハ、力
 ヲ、又、好、シ、者、ハ、之、終、チ、其、確、定、シ、タ、ハ、斯、チ、チ、其、部、
 ニ、臨、ヒ、之、其、事、態、者、チ、存、チ、針、実、施、一、用、十、中、ニ
 其、下、層、チ、チ、好、シ、要、ク、豫、メ、テ、斯、ハ、諒、解、ヲ、遂、チ、テ

方針ヲ確立するに個々の問題に随て日英
 兩國の競争力ノ精神ヲ以テ膠着シテ相續
 する障礙の正の方策を以テ答へるに英國大使が
 然るに現に未だ解決する要な個々の問題例へば租界
 問題其の他特權の上の特權を如何に特權を以テ抑塞
 するに如何に租界の自由を與へるに如何に第一問題
 として英日英兩國の問題を如何に遂げ地を共通し
 方針ヲ定むべき諸問題ヲ開くに如何に折衝すべきを
 以テ大臣の案は各六月早に之を發表す本邦代表者
 及主要閣僚等が集り東京に於て會議し備へ

其一事見於毛德之十中書系一如本籍稅問題
 審議也十以今政府一新制一宜大日本所存
 以今其十于英國政府十戶意見一多換行
 變入之十信十答入之十力
 英國政府十然今十有自今日本國政府之精
 制之十前據諸稅問題之國之英國政府之意
 見十德之十十國之十是示之十日本側有議
 一際同英國政府意見十毛德也考案十仰之
 十如何十而十中十十之十大臣十右十極
 權十英國政府意見十何情十毛德見之十

考案の如くハント答へるなり

高美の大使の轉介を以て武漢壓迫運動ハ先づ

蕪湖邊ニ於て優勢ナルカ如ク漢江ニ於てモ節制者

中既ニ武漢政府ニ對シ不平ヲ抱キ其火を轉

ニ對ス同情ヲ増シウツアルカ如キ情報アル處所

見込如何ト一問ヒニ對シ大臣ハ武漢政府ノ背景

勢力ハ唐生智ナリニ處處ニ寧々同政府トナリ

切ラント欲シ居ルニ一カク河南ノ直魯軍ニ對シ

テ名トシテ漢江ヲ去リヨリト云フ故ニ武漢政府

ニハ頼リトスヘキ實力ナリ為ニ其威令漸次減

ヒツワルハ新案ナカドト答ヘリ、此作案ハ
 將今取リ代表者東京府中ニ趣、府閣下ニ
 引見セリヤト、問ニ對シ大臣ハ此、代表者
 東京中ナリト問キ居ンモ来リ三ニ會ハス、
 代表者トハ此日午後會見シリ、力ニテ其
 一派相違、面目ニ其體来々畫策シ、
 トウ着取シ、日リ自今、其體在、述ヘリ、其代表
 者共舊知、問極中ニトウ以テ其、所云、
 親シク彼等、其面目ナリ、感得、見以テナリト
 答ヘリ、日リ

昭和二年五月十日、澤田隆信、錦長、江田、速、記

電送第4673号

五月二十六日 四二五

田中大臣

在野黨
第五分組
第五分組
第五分組

貴官漢江出張中參謀本部松井少將伍朝

柱卜南京事件解決之關切意見一多換行

〇名二條一(1)本件ハ第17迅速ニ解決ス圖

リ高市下(2)南京政府側ニ強クハ收斂

要化セシ今日列國ノ態度多少緩和スル

ヲ豫期シ居ル下(1)本件ニ関シテハ今式通牒

ヲ發シ内事涉リ方治ニ依ル下ハ已ニ在リ

MARUZEN

上海
本局

五月五日
前卷

田中氏秘書長

矢田總理事

第七次會

南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決
南京事件之解決

見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令
見一階總領事之通令

郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元
郭文所買卜元

任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會
任朝柱之面會

事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺
事官派遺

事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電
事官貴電

領事之
領事之
領事之
領事之
領事之
領事之
領事之
領事之
領事之
領事之

新天本仲解决下之帝國政府、即意向由電
訓之傳之本會以上前之在義上、一致點之見
和之上下心乃之不可統十之中心如之感也之
為到電草案、付刊圖例卜之意見、交換之
指之案中之力增毛相當修正、實情之下如、先自
午之、

尚有一際本件之
 際已地如總
 領事卜合議之
 如見卜露不見
 國側卜之英國
 今使之
 提第已通之
 經之

Shanghai 30 May 9.51 A.M.

Tokio " 1.10 P.M.

Gaimudaijin,

No. 797.

Nationalist government will be responsible for damage done to foreign lives and properties according to the generally accepted rules of International Law.

1. Nanking affair was caused principally by the soldiers of 19th. Division instigated by the Communists. Now entire Division has been disarmed and instigators have been punished while the political commissioner of the 6th. army corps Lin tsu-han is under the order of arrest.

2. Wai chao-pu will, in the note concerning Nanking incident, express regret; stringent orders have already been or will be

MARUZEN

P.V.M. 27

625
626

issued concerning full protection of foreign lives and properties and statement of the same effect has been inserted in the declaration of Minister of Foreign Affairs.

3. Nationalist Government will pay compensation to the Japanese nationals where the case is clear that damage was done by the troops. In the cases Nationalist government will pay compensation upon proof that Nationalist government should be hold responsible according to the International Law.

For this purpose a joint commission of the two countries will be instituted for the examination of such cases.

Yada.

昭和二年五月三十日上海~於「ラムソン」公使の主
龍惠二様と英國側最大譲歩案

Private and confidential.

Following is text of memorandum handed by Sir Miles Lampson to Wang Chung-hui in Shanghai on May 31st.

Demand 1.

Adequate punishment of those concerned in the outrage.

The Nationalist Authorities to furnish to the satisfaction of H. M. Government a statement giving the results of their investigation into the outrage: details (the names, or to be awarded, including a statement of the punishment inflicted on specified Commanders).

Demand 2.

Apology.

An expression of profound regret in writing, and an express undertaking to refrain from all forms of violence and agitation against British lives and property.

The sincerity of this undertaking to be shown by the communication of the Text (to be agreed upon in advance) of a definite written order addressed to all civil and Military Officials prohibiting official support in any form for political strike, boycott or other form of violence or agitation directed against British interest

Demand 3. Reparation. Upon the Nationalist Authorities accepting responsibility for the making of complete reparation for personal injuries and material damage done, a Sino-British Joint Commission can be instituted for the purpose of verifying the actual injuries and damage done to British lives and property by the Chinese concerned and of assessing the amount of compensation due in each case.

慶應四年八月十七日
二年六月十日
百石長三

長安芳澤所係

中三六号

長上湖領事院印七九六号

伊申出聲明案各條項等為研究之要事也

為此等之付不取能上湖ハハ別電印三〇七号

派リ新令之通事日ハ次知十ハ力此際通之南京

政府之對之本件友海之同好也下五ハ能電

平云大五号一通リ時期為早一棟中中ハ非ハ

長政府之新平ハ自之實化ハ長ハ本件解決ハ

MARUZEN II

斯以自發的聲明ヲ行ハトス一意思ハ之ヲ予ハ從
東一制裁問題一如平元自然解消云々一三十三
爾後利ハトニ平我漢政府ニ對ス各海一後ヲ受リ通
二南京政府ト一關ニ本件協議ヲ關ル者異議
十ハハ中ニ付テハ貴官ハ到會一知知即會ニ一上貴
地閣係同國代表者ヲ請フニ本件解決一氣運
ヲ醸成スト其一意見畧一限ニ之ヲ予ハ概
ヲ送ルニ問題ヲ上訴スルニ左地ヲ予關係同國
代表者ト南京政府ト一關ニ本件交渉ヲ開始ニ
得ハ標可也此指通アリ座

2

卯
乙
巳
己
庚

伍甲出聲明案之付予者乃之於牛懷重審議中

上海圖書館藏
三〇六號

1 方斜 + 2 付貴官 八 最近 1 機舎 2 那午貴官

一思付年卜ニ手左、緒矣、付適宜南、京路、府側

1 意向 3 探 3 度

(1) 聲明案人、虛白期一項、人貴、信、對、應、而

一通不満足ト認テ之ニ屬シテ其ハ南京政府

ニ對テ修正ニ應ジテ實情アリヤ否ヤ

(12) 聲明案全文一意味アリシ陳謝ハ尙然南京

政府之ヲ以テ中絶セシメ付聲明案冒頭

Chase-Jui "Nationalist Government" 一語

ハカニ國民政府ト稱シテ第一字句ヲ通シ

喝斷ニ拂入ラシメテ其意旨アリヤ否ハ重

大ナル要ニ非ズトモ爲ス

(1) 我々トシテハ屬以修憲一通ヲ現國體ト南

京政府ト一階ニ在テ通者！條件ヲ以テ本件

北平
本報

六月
二日
後發

回中事務大臣

芳澤公使

第六一六号

貴國音六号之閣

六月二十日五國使會議之閣中在上海總領事處

閣下電報第七九七号接伍朝杜聲明案一寫

了交付之即訓示一趣意之體之于四國代表一誘導

之新十日上海佛國公使八在上海總領事處貴電

即三十七号欠回總領事一思付之于南京政府

府側一急總了探入中緒點了就于八全然同

感一急ヲ新ニ且件一聲明案第一項ヲ讀ニテ十九
 師トナルニ南京事件一全日ニ關係者ハ十九師一
 兵年一ミエラス十九師ハ其處尙撲滅ノ趣意
 ヲ以テ解散セラルルニテハ其ノ中ニテ難ク且第
 九師ニ同事件一全日ニ關係者古トハ第一項ノ
 事ニ即ニ於テ自同ノ限ニテ處ニシテ西山林祖涵
 ナルモノハ其處尙甘ンカ物ニ速捕セラルルニ
 ナルヤハ測リ難ク南京事件一關係者ハ其ノ為
 ナラザルヘリ要スルニ第一項ハ眉唾物ナリト思
 述ハ英國代理公使ハラングリン等ハ大體同様

中外事務大臣

上海

各省督撫

各省總督

第十一号

從電第七九六号之附

育百英圖所係卜有見同所係八圖戶一表

目的之付予人觀之世上之取沙汰也乃居之其

陸海軍生腦者卜竟見多變各一外他意十力

り之旨ヲ語り之ハ後尤在東京事件之附

支那ヲ通シテ任朝杞ト一問ニ非公式ニ交渉

ヲ開始シ相商國折ヲ經テ最後ニ美國側

REPRODUCED

1 要求、最少限度、その邦側、提示、目下
 其、回答、格、4、格、2、格、3、述、入、其、邦側、最初、
 提案、ハ、米、佛、宛、1、年、1、月、1、日、受、取、7、月、2、日、1、同
 様、1、2、日、付、貴、官、接、受、セ、リ、7、月、2、日、亦、亦、英、国、小
 異、1、年、1、月、1、日、付、其、邦側、提示、不、可、所
 謂、最少限度、要求、2、付、述、入、リ
 (1) 虚、罰、1、點、其、邦側、案、案、意、リ、不、満、足、2、リ、
 英、国、1、要求、ハ、既、ハ、虚、罰、セ、ル、犯、人、1、名、満、足
 2、將、来、虚、罰、乃、キ、犯、人、及、責、任、者、一、軍、隊、指
 揮、官、3、名、迄、1、名、滿、足、リ、提、示、ハ、英、国、側、1、満、足

たれにさうしてハキコト

(二) 謝罪一件ハ國民政府一者 初テ深甚ト遺憾

憾一意ヲ表シ 謝罪一保障 謝罪ハ四月

十一日提出要求一又言ニ其年布告ヲ知サント其

又言ハ英國側ノ満足スハキコト

(三) 賠償ニ付テハ其側ニ初テ賠償ノ責任ヲ

承認スルハ兩國委員ニ於テ損害ノ責任

程度ニ付額高ノ金額ヲ決定スルハ其

議中ニ尚同ハ使ハ本件ヲ其支側ニ初テ協

定スル他ハ三國ニ之ニ均等シタルト思ハル

處目所 元氣 頤他 / 友邦 3 智 拔 精神 十

2 付 以上 1 事 階 3 貴國 政府 2 報告 4 3 3 3

尤 色 經 秘 2 切 合 處 1 附 意 4 3

解決の付書に各々二の非に於て南京政府側の於て
 元在干蘇トシ例ハ損害賠償トシ之等元聲明案
 三一如何等責任ヲ回避シ若ハ其ノ誠意ヲ疑ハ
 之ハ如平妥同ヲ用フニテ避リト考テ即一列國側ノ
 損害ハ其ノ暴徒ニ依リト稱シ軍人ニ依リトテ賠償ノ
 五ノ賠償金ノ總額ニ對シ南京政府ニトリ
 大局上修案ナリヘテ場合依リテ英國ト一列國
 江事件ノ解決ニ先例ニ據ヒト極大ニ誤
 己中次等ニシテ又共同調査ニ付テハ列國側ニ
 万議論ハ其所古先務方ニ於テ其側面ニ

上海
本署

六月
署前
署

田中大臣

欠日總領事

甲乙五号

德電甲乙一〇号之閣

昨乙日在及今朝英國公使及英米總領事之會

上見結果若一通訂正

(一) 英米閣一關係之各語ト稱及居之ヲ云者

ヲ通シテ接解ニ居ル形ナリト

(二) 本部側方一回答ハ之ハ粗末ヲ接解アリ

(三) 佛ハ在在使ヲ交際開始ノ時ニ班スト

訓令アリ從午未日吉野側ヲ聲明舊案ヲ
爲解リ居リ

尙米國總領事ハ吉野側一提案ヲ檢査中ニ因
害ハ陳列仁一同答ト大義奉リ以午米國政府
ハ之ヲ滿意トスルト認メ其ハ已ト認レリ

goodwill (and sincerity) on the part of the
Nationalist Government.

The reply from the British Government will be somewhat as follows:

"The British Government regrets that circumstances were such that the measures taken were absolutely necessary for the protection of British lives and property (in these circumstances no question of reparation can arise").

Para 6. Request of the Nationalist Government for the abrogation of existing Treaties and the immediate conclusion of a new Treaty on a basis of equality and mutual respect of territorial sovereignty.

The reply from the British Government will be to the effect that the attitude of the British Government has always been friendly and sympathetic towards the aspirations of the Chinese people for a fundamental revision of existing Treaty relations as evidenced by the Declaration of December 18th, 1926, and the Seven Proposals of January 28th, 1927, the execution of which depends mainly upon (the manifestation of) a spirit of

and agitation against British lives and property (copy of prohibition implementing the above declaration to be communicated unofficially in advance and accepted by the British Government.)

Para 4. Upon the Nationalist Government accepting responsibility (for the making of complete reparation for personal injuries and material damage done.)

A Sino-British Joint Commission will be instituted for the purpose of verifying the actual injuries and damage done to British lives and property by the Chinese concerned, and of assessing the amount of compensation due in each case.

Para 5. The Note from the Ministry of Foreign Affairs of the Nationalist Government will refer to the bombardment of Nanking by British warships and the Nationalist Government (earnestly hopes) that the British Government will express regret (and make adequate reparation to the sufferers concerned.)

昭和二年六月三日「ワシントン」五日電、南京事件の解決基礎條項

-1-

Wang Chung-hui's formula
June 3rd.

Para 1. The Nationalist Government of the Republic of China, after investigation of the Nanking incident, inspite of the fact that, it was instigated by the Communists prior to the establishment of the Nationalist Government at Nanking, assumes responsibility for the incident in accordance with the generally accepted rules of International Law.

Para 2. The Nationalist Government to furnish to the British Government a detailed statement of the measures already taken (or to be taken) against those implicated in the incident. (the statement to be communicated unofficially in advance and accepted by the British Government.)

Para. 3. An expression of profound regret in the Note from the Ministry of Foreign Affairs and an express undertaking on the part of the Nationalist Government to (refrain from) all forms of Violence.

赤字六月
三日回總
領事任期
枉命缺
結果訂正
未錄前條
也分

南京事件解決之關於南京政

府側聲明案

國民政府之一般之承認也。且國際法一觀
則之從之。外國人、生命及財產之對已為中日
以損害之付責任之負之。

一、南京事件之責任之負之。其產主義者、煽動之

受之。日之第十九師兵卒、傷之、急起也。日之

今中國師全部之裁撤解除也。且煽動者、

處罰也。且下其第六軍政治部主任林祖涵

二、對日之逮捕令之發也。日之北平米確受

二、外交部、南京事變、國民政府、及於今遺憾

一、意、南京事變、國民政府、及於今遺憾

分十、保護、國民政府、及於今遺憾

又、國民政府、及於今遺憾

言中、挿入、及於今遺憾

三、國民政府、及於今遺憾

事、國民政府、及於今遺憾

又、國民政府、及於今遺憾

法、國民政府、及於今遺憾

予、國民政府、及於今遺憾

查目的、為兩、共同委員會、組織、前、期、場
查、付、審、事、人、已

各個、場合、之、於、其、責任、及、賠償、額、之、決定、及、為
一、兩、共同委員會、組織、之、上、之、入、

六月四日
午前
晴

田中外務大臣

矢 回 總 領 事

第 2 四号

貴電知
二七
二六
一
陽

本
白
三
任
朝
杞
倉
見
怨
類
一
結
果
在
於
好

(一) 產部
1 點
2 就
3 任
4 事
5 仲
6 分
7 南
8 系
9 政
10 府
11 定

都前、出来事古下
(12) 被害力
全然、其難免

(2) 1. 附于下 1. 2. 理由 2. 该 4. 责任 8. 为然

武漢政府
歸乃中
五
十
從
于
南京政府

1 玄 燭 一 德 義 上 一 費 似 有 有 有 有 武

漢政府、特種ト云フ建前ト列國トノ關係ヲ顧
 念シテ誠意解決ヲ計ラントスルハ故日本政
 府ニ對シテ此點ヲ録トシテ余ヲ強硬トシテ要求
 シ、ソレトモ此等様事變ノ例ハ程濟等指揮
 官ノ處罰、如キハ南京政府ノ立場ヲ困難
 ナラシムルモノナリ。殊ニ山東出賣問題、定案ハ尚
 方面ノ空氣ヲ惡化セシムル本件解決ヲ
 容易ナラシムルモノナリト述ヘテ容易ニ修正
 2 態度を色ナリシヲ以テ態度轉變シタ後之
 3 後通シトシ

1. 張

(三) 貝吉續並共同
朝香，仲
二款年
伍分

以下一
同
加
凡
17
撥
器
鋼
重
2
英
米
1
砲
擊

2 其 夕 元 1 己 へ 中 元 潮 元 其 夕 以 夕 去 那

軍隊 2 係 3 人 2 台 2 機 2 3 4 2 2 3

決意
ト
テ
テ
テ
テ
テ
テ
テ

何	也	久	同	曖	昧	十	二	付	右	in	other cases	以下
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-------------	----

international law 国际法

日之之ヲ承認シ最後ノ争トシテ訂正ヲ提
 議セシ
 a Joint Commission of two countries
 will be instituted for the purpose of determining
 responsibility in each individual case and
 amount of compensation.

猶其同朝查ハ形式的ノ一トシテ迅速解決スハ
 中ニトシ申開ケ貴族解フ體トシテ後トシテ速ク解
 議シ審ク者方一網盡ス依ハ加害兵人一九師
 限多ク其數元ニ百名以上先下確證ス
 付處日朝決レ一元ノ者ハ中ニ拘ク又要ス

〃 南京、政府の處罰に關する限り既に解決済
 止となつて居る中、實にミロウに於て是れ迄に
 入る迄に本官の貴下と此の項に修むべき應否
 急務ありや否や、聲明する同答を請ふことと迫り
 〃 金越應 也久ト云ふ次第にハ、下りスル
might be possible) ト答へ何人かの相談上
 決意するに如きは、順に決するに付、其の上迄求
 せんとす可なり

電達 卯 4991 号

昭和六年四月五日 五、四五 分發

岡中大臣

在
芳澤 八 傳
卯 五 一 八 号

六月四日 在本邦英國大使館前之南京事
件之關係之ラレポイント之點々之例ト非ハ式ニ據
觸シタル處南京政府力國民革命一為ニ員
團員之努力シ本件一解決ニ就キ之真面目ナリト
一印象ヲ得タル旨ヲ述ヘ從而本件之關係ニ至
此際南京政府下一問題解決ニ妥シテ進

唐平於古處如何ト事不_レ々_二付本大臣ハ矢回
 總理事ヲ會迄南京側ト接觸シタル所_二ト
 帝國政府ニ對シテ同様ノ感想ヲ持テ急遽ニ本
 件交渉ヲ開始スル_二付今日本大臣ハ新_レ年ニ感
 古力其ノ方法トシテ本件ヲ北東ノ物ニ先_レ關係五
 國今後ノ議ヲ繰_レリ上_レ海各國領事ニ指圖ス_二付
 南京政府ニ交渉セシメ付ト改_レテ報_レタル_二英
 國大使長_二ト同意タル旨ヲ述_レル_二

唐平於古處如何ト事不_レなる付本大臣ハ矢回
 總理事ヲ今日迄南京側ト接觸_レ日_レ所_レヲ
 帝國政府_レ之_レ新_レ年_レ之_レ同様ノ感想ヲ揚_レ爲_レ急遽_レ本
 件_レ交渉_レヲ開始_レス_レト_レ付_レ年_レハ本大臣_レ之_レ新_レ年_レ之_レ感
 古_レ力_レ其_レ方法_レト_レ本件_レヲ北_レ東_レ之_レ物_レニ先_レノ關係_レ五
 國_レ今_レ使_レ一_レ議_レヲ_レ總_レ大_レ日_レニ上海_レ智_レ國_レ領_レ事_レ指_レ圖_レニ_レ于
 南京_レ政府_レ之_レ交渉_レ也_レト_レ付_レ年_レト_レ改_レ定_レト_レ知_レル_レト_レ大
 國_レ大_レ使_レ之_レ三_レ國_レ意_レト_レ告_レヲ_レ述_レハ_レ日_レ

北原 久月 八日 紅松

因中大臣

芳澤 公使

卯六五〇号

六月七日 莫尔公使歸任 台来訪會議之時間

五ヶ月節同公使ハ上海滞在中王寵惠トハ殆ト

毎日一處々會見シタリトテ南京事件之関心固今

ハ至極

(一) 盧副之付テハ南京政府ハ既ノ副シタリ及ニ

東田副也ト云テ一人多表ヲ多付テ多移器

付テハ側ハト將來決シテ何レノ官職ニ任移月七年

ハ一保障ヲ為スル也

(二) 陳謝二府之八王、蔣介石之陳謝也、此等
一國難之新へり、之付外交部、之經手國民政府、
各之於陳謝也、之事、之且將來此種、暴行
事件其他排英運動等、之為廿年、之保障、之
久、之旨

(三) 賠償之貸、之其金額、之定、之為英支聯合會
會、之此府、之之、之累、之無、之旨

(四) 英國軍艦、之南京炮擊、之貸、之五、之英國
側、之遺憾、之、之意、之表、之且將來、之賠償、之
者、之要求、之為、之日、之之付、之自、之府、之遺憾、之、之意、之新

述べた日の経緯は、ミナソノ免、角五國公使
 一會議、於今一應急、易、舟後、行、事五國協約
 一歴史、願、当然、事ト思ハント述べた日の趣、同、今
 條、同意、力、表、出、付、本、使、入、直、九、日、ヲ、以、今、五、國
 公、使、會、議、ノ、開、ク、一、年、後、ト、リ、キ、ル

芳澤
介使

六月九日五國會議之關於美國公債之大體右記載

1. 同
1. 傳
1. 談
1. 話
1. 同
1. 樣
1. 陳
1. 述
1. 7
1. 十
1. 日
1. 上
1. 王
1. 寵

惠ハ條約ノ改正ヲ提議シタルニ付自今ハ此ノ問題ニ関

不
凡
英
國
政
府
，
意
向
八
十
二
月
十
八
日
，
寫
書
（
寄
年

德電第八五号及七一月下旬、下下トナトト

電 牙 一 四 四 号
ニ 依 リ 既
ニ 明 カ リ ト 答 ヘ
置 手 日 々 号

3 述へ自分上機名に印象を
依りてその那側より吾國

共同して交渉する事ヲ嫌ヒ居ルニ付少クモ或
 種程度迄至ル迄至ル迄至ル迄至ル迄至ル迄
 此儘繼續スルヲ得策トヤニ認メ得ト附言シ
 日
 然ル本條ハ末國公使ハ向ヒ貴國公使ハ前同ノ會議ニ
 於テコトガイスト領事ト協議ヲ遂ケルニ迄意見ヲ
 留保セリタルカ右協議ハ終了シタル次第ナ
 ト云々タルニ貴國公使ハコトガイスト意見ヲ徴シ
 ンコトナル南京政府ノ貴國公使ノ述ヘタルニ
 通南京事件解決ヲ希望ス有リト事ニ付自分

元各國共同ニ千多海より正軍艦一方多海進揚
 一像宜アリト思考ニ其英國今使ハ主寵惠ト一階
 二是迄商議ヲ進ト甘ニトニエアリ或ハ程度迄五
 國一為同今使ヲ煩ニ千此共多海ヲ進揚也ハ其
 ト關係國一為協策アリト思考テ述ハ佛伊ハ使
 二亦是ニ賛成一意ヲ表シ甘ニ付本使ハ本使
 一急願也ハ日本政府一親今ハ五國協調ヲ本旨
 トニ且今日迄共同ニ千多海ヲ進行ニ来リ見
 事案ハ願ニ何レ一國アリトモ非今成下也
 軍艦多海一方法ハ物ツル事ト付テ本

國政府一承認之得之非也。本條之於不同意
者表之能ハト述ハ尚英國公使ハ王寵惠ノ方
海方或ハ程度迄達シタル後ハ各國軍船之交渉
ヘント一意見ナリヤト云ハル。蓋米國公使ハ其
際更ニ考量ノ上各國軍船之交渉ハキヤハ依
然英國公使ヲシテ交渉ヲ繼續セリハキヤヲ決セ
ト然レヘント答ヘタルニ付
本條ハ本國政府請願ニテ認否ヲ決スヘト答
ヘタル處英國公使ハ軍ハ王寵惠ト自命トシテ
涉ハ然非公式ニテ個人の交渉ナル故ニハ

海内諸君何人ヲモテモ此ノ事ニ對シテ日ニ程ニ付
 日本政府ヲ諒解セラルルモノハ固カキ英國政府ニ電
 報シテ五國政府ノ為ニ海ニ接ヘキヤ否ヤ一割電ニ
 接ス迄一兩日待リテト申出テ見ニ付本條ハ
 本日五國公使會議開催ノ次第ハ新聞記者
 元之ヲ探知シテ或ハ東京ニ電報ス（キ）尙自
 市トシテハ此ノ層議ノ顛末ヲ本國政府ニ電報ス
 ことヲ百アリトモ見合スト能ハズ本條ノ電
 報ニ基キ日本ニ對シ英國政府實ニ地ニ對シ格
 道ヲ探ルモノト見合セ方電報集ムモノトハ差支ナ

卜述ハ、ル虚英國公使モ之ヲ肯シヨリ本使ハ尚
 英國公使ニ對シ同公使ヨリ王寵惠ニ付シタ覺
 著ノ寫送付方ヲ要求シタ虚同公使ハ之ヲ承認
 シ夕刻別電第六五九号及別電第六六〇号ノ二通
 ヲ送越セリ實ハ同公使ハ北京着後非ハ式ニモ
 王寵惠ヲ假々南京事仲解決ノ交渉ヲ
 受ケルニモテ從來ノ五國協約ノ歴史ニ顧ミ他
 國ニ断リ且上級形式交渉ヲ進メ見方然ハセント
 思フ也、ル米國公使ノ如キハ前記ノ通達ヲ英
 國公使ニ或モ送一任スントノ提議ヲナシタ

此來一付本俸五前記、言說以上終聲スルニトハ
 見合セ置キタリ尚英國公使ノ類ニ王トノ交渉ノ
 内容ノ秘密嚴守ヲ切望ス居リ也、付此ノ儀御
 會ニ置キテ請フ同公使ノ嚮動ニ願ヒ上海ニ於
 テ類ニ秘密ニ交渉ヲ進路ニ多少或ハ拔駁ノ功
 名ヲ博セトスルカ如キ小功名人アリ也、中ニ
 計リ難キヤニ邪推セラル也、本俸トシテ王
 寵惠カ南京ニ赴キ國民政府當局ト協議ヲ遂
 ニ、陳果、日本英國公使ノ希望スルカ如ク速ニ國滿
 州ニ出張ヲ告グ、中々此カ題ニ本俸ノ方所無意
 也

RECEIVED

Peking, 10th. A.M.

Rec'd June 10th. P.M.

Gaimudaijin,

Tokio.

No. 659.

Cheng Chien, commander of 6th Army,
troops of which committed the murders and did
the looting.

Tward Chang Hui-tsan of the 2nd Army:
was known to be in command of troops at
Nanking at the ¹time of outrage; was told to
come off to H.M.S. "Emerald" in order to
arrange for the safety of those remaining in
the City but failed to comply; has subsequently
brought motor-cars looted at the time to Shanghai.

Lin Tsu-han, Political commissioner in the 6th
Army: admitted by the Nationalist authorities to be
under order of arrest for the Nanking outrage.

Yoshizawa.

(MARUZEN) I

by the Chinese concerned and of assessing the
amount of compensation due in each case.

Yoshizawa.

An expression of profound regret in writing,
and an express undertaking to refrain from all forms
of violence and agitation against British lives and
property

The sincerity of this undertaking to be shown by the
communication of the Text (to be agreed upon in advance) of
a definite written order addressed to all civil and Military
Officials prohibiting official support in
any form for political strike, boycott or other form
of violence or agitation directed against British
interests.

Demand 3. Reparation. Upon the Nationalist
Authorities accepting responsibility for the
making of complete reparation for personal injuries
and material damage done, a Sino-British Joint Commission
can be instituted for the purpose of verifying the actual
injuries and damage done to British lives and property

Peking, 10th, A.M.

Rec'd June 11th, A.M.

Gaimudaijin, Tokio.

No. 660

Private and confidential.

Following is text of memorandum handed by Sir Miles Lampson to Wang Chung-hui in Shanghai on May 31st.

Demand 1.

Adequate punishment of those concerned in the outrage.

The Nationalist Authorities to furnish to the satisfaction of H.M. Government a statement giving the results of their investigation into the outrage: details (the names, or to be awarded, including a statement of the punishment inflicted on specified Commanders).

Demand 2.

Apology.

回中大臣

第六次西号

往電印久五四号

中解

現

漢

以

事件

一

解決

方

アハ

南

京

事件

一

誤

二

付訂

正

なり

り

り

本北
省京

久月

十

日

芳澤
公使

本 北 京

六月十日 後著

田 中 外 務 大 臣

芳 澤 公 使

第 六 六 号

陸 軍 大 臣 三 角 少 將

六月九日、エトワート、依頼、依り、岸本末訪談

ハ、依り、王寵惠、了、依り、岸本末訪談

王ハ、南、新、政府、依り、岸本末訪談

各、場、合、物、務、依り、岸本末訪談

ト、一、二、三、ハ、大、分、神、依り、岸本末訪談

ト、相、談、依り、岸本末訪談

MAFUSED

其時力ヲ得ルハトナリ依テ本使ハ斯ノ
 如キ事終ニシテ豫テ本使ノ豫期ニ臨ミテ
 之ヲ為措置ヲ執ルコトトナシ英國公使ヨリ
 何等カ申越スルコトナシ出来難キ旨
 答テ本使ニ依テ置キリ
 本使本ノ内談ニ依テ本使ノ案ヲ悉ク依
 南支那總領事長等ノ收入者中稅務長官
 ヲ目録ニシテ總ルコトトナシ至シテ
 人トシテ目方ノ外ニ清算人ヲ設ケサ
 ムコトナリ法律家トシテ一般支那人ノ如ク

日利之教中人物ト思ハルカ故税務監督辦ノ地位
 ヲ執望スルモノト思ハル從テ或ク南米政府ノ就中
 一リノリノシテ大分深ク錯ヒ込ミタル極ノ心座ニハ
 右ノ諸事ノ地位ヲ得ルカ爲税關ノ對シ最モ權力ヲ
 英國ヲ屬スルモノトスル政府モ尤モ味方シタルヤ
 測ラレヌ斯ノ如ク觀シ来レハ彼ノ南米事件ヲ英
 友兩國ノ間ニ解決セムカ爲目下極力努力シ居ル
 ヤ測リ難シ若シ果シテ然リトセハ一ラシクノト
 子以テ大々ノ内情ヲ察知スルヲ聊カ衆モ多ク
 此ノト看做シ得ルコト邪推テテ御意爲違

上海
本商

六月十四日 後着

中外務大臣

欠因總領事

第八六二號

在支今據發本官宛電報第九六號來應已

五親懇一任所口黃部元知多又電報部總

承知通修已居少卜事已付電報王王來

約了求十四日面會由東京一以年詳細親來

五五八右八金然自命一意見卜合改又抑在本件

一起了八財政部長一意見二甚多元一古力因分

八此際急遽積極的措置多執中卜之人及

田中事務大臣

北京
本府

六月十四日
午後
簽

臨時代理
人

第六八一号

從電第六五八号之附

六月十三日英國公使來訪、際著譯介使、南京事件
交渉之關シテ其後、本國政府より何等訓令、接セ
レカリヤト露示甘ん、ラン、ハ然リ本國政府ハ
於テハ各國政府ハ領事館等ヲ通シテ通商ハ南京
政府ト交渉ヲ為スエトニ對シテハ同等、異存ナリ
ヲ、ラン、ラン、カ王寵惠、一交渉ヲ續行スルコトニ

之要存十中王寵惠一南条政府之於今位置
 ハ果シテ如何十ニ一カ難ハシク同族一力ヲ以テ其命事
 件一結果ヲ付テ得ルヤハ難ハシク一其地ハニ付其速
 一決意ヲ持テ必アハシク要スルニ其思政府トシテ
 本件ヲ急速ニ解決スルヲ以テ機ハ速ニトシテ
 口頭実ニ結果ヲ付テハトテ一其地ハニ付其速
 趣旨一創石ニ接シタリトテ一其地ハニ付其速
 件ハ何ハ其國庫難ハ按察シタルト思ハ
 ンニ不取敢

電通 卯丑一九六号

二年六月十四日 二四〇

在 芳澤公使

田中大臣

第三二九

貴電 卯丑五八号 二四〇

(一) 英國公使、他四國側ニ對スル樹義ノ實支間、

單独交渉ヲ容認セムトナリ求ムニモ、如何ニ

ニ對スル英國公使、提議ノ英國公使、非公式

交渉ヲ一種他、列國ノ事務トシテ包含ナリ莫ク、

統ヲ總括セムニ、如何ニ、意旨向明瞭ナリ

廿八日、此ニ從来、五國協調ノ歷史ヲモ、

必要之應之地、四國側之對之英支間班、
 或單獨多涉、經過、內幕、下、下、英國
 側、力、在、多涉、之、繼續、之、付、他、之、一、新、解、之
 求、之、之、下、下、解、之、之、下、下、之、新、之、下、下、之、
 同、係、國、係、之、對、之、在、一、解、新、之、下、下、日本、政府、之、
 前、親、與、支、間、一、之、多涉、續、(連、之、何、等、異、議、
 本、旨、明、之、也、之、同、情、之、轉、之、之、之、之、從、來、
 同、樣、之、轉、之、之、之、同、總、領、事、之、之、之、之、之、之、之、
 側、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、
 報、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、之、

ト入平名ヲ述ハ解解ノ求ト置カレテ

(三) 右ノ次第ナリト以テ今後英國側日本側何レモ

前記ノ趣旨ニ依リ相並行シテ南京政府側ト

北平政府側ト進ム場合或ハ兩者ノ結果相

同トモ若ハ双方ノ一ニ南京政府側ト一ニ

解解ノ訓達ニ結局單獨解決ト至ルハナク

、即ち之ヲ置キテナシ

PVM 27 10/14

本系
五月十日
在
松本

因中外訪在

據臨訪代理公使

第廿五号

松電第廿五号之附

六月十号面談之際英國公使曾六月九日五

國公使會談結果自布多本國政府之對地

一何國之事件之受之二十七日自布多南京政府

一水合式協議之進行之其經過之始之關係國側

一內閣之候之地一關係國之亦同標其便宜之

一方法之平協議之進行之其經過之始之關係也

MARUZEN II